令和7年3月愛荘町議会定例会会議録

令和7年3月6日（木）午前9時00分開議

議 事 日 程（第3号）

- 日程第 1 一般質問
- 日程第 2 同意第 1号 愛荘町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 日程第 3 同意第 2号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 日程第 4 同意第 3号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 日程第 5 同意第 4号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 日程第 6 同意第 5号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 日程第 7 同意第 6号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 日程第 8 同意第 7号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 日程第 9 同意第 8号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 日程第10 同意第 9号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 日程第11 同意第10号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 日程第12 同意第11号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 日程第13 同意第12号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 日程第14 同意第13号 愛荘町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

いて

- 日程第15 承認第 1号 令和6年度愛荘町一般会計補正予算（第9号）の専決処分につき承認を求めることについて
- 日程第16 議案第 1号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 日程第17 議案第 2号 情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 日程第18 議案第 3号 愛荘町監査委員に関する条例および愛荘町下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第19 議案第 4号 愛荘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 日程第20 議案第 5号 愛荘町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第21 議案第 6号 愛荘町健康診査負担金徴収条例の一部を改正する条例
- 日程第22 議案第 7号 愛荘町学童保育所の設置および管理に関する条例の全部改正について
- 日程第23 議案第 8号 愛荘町こども家庭センター設置条例
- 日程第24 議案第 9号 令和6年度愛荘町一般会計補正予算（第10号）
- 日程第25 議案第10号 令和6年度愛荘町土地取得造成事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第26 議案第11号 令和6年度愛荘町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）
- 日程第27 議案第12号 令和6年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第5号）
- 日程第28 議案第13号 令和6年度愛荘町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 日程第29 議案第14号 令和6年度愛荘町下水道事業会計補正予算（第3号）
- 日程第30 議提第 1号 予算・決算特別委員会の設置について
- 日程第31 選任第 1号 特別委員会委員の選任について
- 日程第32 報告第 1号 特別委員会正副委員長の報告について

- 日程第33 議案第15号 令和7年度愛荘町一般会計予算
 日程第34 議案第16号 令和7年度愛荘町土地取得造成事業特別会計予算
 日程第35 議案第17号 令和7年度愛荘町国民健康保険事業特別会計予算
 日程第36 議案第18号 令和7年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計予算
 日程第37 議案第19号 令和7年度愛荘町介護保険事業特別会計予算
 日程第38 議案第20号 令和7年度愛荘町下水道事業会計予算
 日程第39 議案第21号 町道の路線の認定につき議決を求めることについて

本日の会議に付した事件

日程第1から日程第39

出席議員（14名）

1番 久保田 正利君	2番 小菅 久宣君
3番 中川 喜代和君	4番 澤田 源宏君
5番 村西 作雄君	6番 村田 定君
7番 上田 太治君	8番 高橋 正夫君
9番 外川 善正君	10番 河村 善一君
11番 瀧 すみ江君	12番 竹中 秀夫君
13番 辰己 保君	14番 森野 隆君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	有村国知君	副 町 長	杉本甚治郎君
教 育 長	徳田 寿君	企画政策監兼みらい創生課長事務取扱 兼給付金・定額減税一体支援事業推進室長事務取扱	西川傳和君
総務政策監 兼会計管理者	生駒秀嘉君	福祉政策監兼健康推進課長事務取扱 兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱	木村美紀君
産業政策監 兼商工観光課長事務取扱	北川三津夫君	教 育 次 長 兼教育振興課長事務取扱	陌間秀介君
経営戦略課長	田中孝幸君	行革・DX推進室長 兼公共施設最適配置推進室長	久保川瑞穂君
人権政策課長	藤野知之君	くらし安全環境課長	山本拓也君
福祉課長	小林充周君	子ども支援課長	増居志穂君
住民課長	楠 真二君	税 務 課 長	藤澤雅史君

農林振興課長
生涯学習課長
兼国スポ・障スポ開催推進室長

阪本 崇君
水谷 徹也君

建設・下水道課長
図書館長

羽田 順行君
三浦 寛二君

事務局職員出席者

議会事務局長 森 まゆみ 書記 伊谷 一 真

開議 午前9時00分

◎開議の宣告

○議長（森野 隆君） 皆さん、おはようございます。着座にて失礼いたします。

ただいまの出席議員は14名で、定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

◎議事日程の報告

○議長（森野 隆君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

○議長（森野 隆君） 日程第1 一般質問を行います。

昨日3月5日に引き続き、3名の一般質問を行います。

順次発言を許します。

◇ 河村善一君

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） おはようございます。10番、河村善一。一般質問を行います。大きくは3問について質問させていただきます。また、一問一答でお願いいたします。

第1番目の質問でございます。第5期愛荘町地域福祉計画についてであります。

令和2年度から6年度までの5年間の第4期愛荘町地域福祉計画の見直しを行い、今後5年間、令和7年度から11年度の第5期愛荘町地域福祉計画は、パブコメも終わり最終段階に入っていると思いますが、計画素案を見て今後の福祉計画の考え方について何点かお尋ねいたします。

第1、計画づくりの背景に、令和3年度に開始された重層的支援体制事業があるとあります。必須項目として、第1、誰一人取り残さないことを前提とした属性を問わない相談支援、第2、相談者と社会のつながりをつくるための参加支援、第3、場や居場所を整備する地域づくりに向けた支援の3つの項目が示されていますが、具体的に何をしようとするのかお尋ねいたします。

○議長（森野 隆君） 福祉課長。

○福祉課長（小林充周君） 町では、今日までケースに応じた支援チーム体制を臨機応変に構築し、関係機関と一緒に課題解決に向けた個別支援を行ってきています。しかし、福祉的課題が複合化、複雑化している近年、議員御指摘の属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に実施する重層的支援体制事業を国が推進しています。そこで、各項目の内容と当町が目指す重層的支援体制事業についてお答えさせていただきます。

まず1つ目の、誰一人取り残されないことを前提とした属性を問わない相談支援とは、課題の種別に関係なく、相談を一括で受け止め、多数の機関が協働して包括的に相談支援をする体制のことを言います。町としましては、引き続き、町内連携、関係機関とのネットワークを推進していきます。

2つ目の相談者と社会のつながりをつくるための参加支援については、ひきこもりの方や障害のある方が就労体験をされるなど社会から距離を置いている方の就労支援を目指すものです。町では、圏域で設置しております働き暮らしコト支援センターと連携を図り支援をしています。

3つ目の場や居場所を整備する地域づくりに向けた支援は、住民同士の顔の見える関係性の育成支援のことで、世代を超えた交流や学びの場をつくり上げる取組を言います。町では今後も地域共生社会を推進するとともに、地域資源を活用した居場所づくりを推進していきます。

以上、今日までの取組を常に評価しながら、複合化、複雑化している福祉的課題解決のため、ニーズに合った取組となるよう引き続き進めていきたいと思っております。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 次の質問に行きます。次は、地域福祉と地域共生社会についてであります。

地域福祉と地域共生社会について述べられていますが、具体的にどういうことを言われているのかお尋ねいたします。また、具体的に進めていこうとするならば、全ての人々の協力がなければできないと思うのですが、今後どのように進めていかれるのですか。地域共生社会の実現に向け、住民一人一人が生活課題を他人事ではなく我が事として捉え、地域づくりに参加するきっかけとなる役割もあるとあります。本当に皆さんがそう思ってくださっているのだろうか、確信が持てていません。どのように進めていかれるのかお尋ねいたします。

○議長（森野 隆君） 福祉課長。

○福祉課長（小林充周君） 第5期愛荘町地域福祉計画では、誰も取り残されないみんなが主役の社会へをテーマとした、支え支えられる地域共生社会の在り方について記載しています。また、福祉課からその取組内容を常に発信しているところです。広報あいしょう令和4年10月号の特集において、地域資源を巻き込んだ町の地域共生社会の在り方を掲載し、先日1月19日に発足されました愛荘町福祉コミュニティ親の会の前身となります愛荘町障害児者親の会の取組の様子も紹介させていただいております。また翌年には、ラポール秦荘ふれあい広場のリニューアルオープンイベントにインクルーシブの概念を導入し、障害のある仲間の音楽グループDドラファミリーの楽器演奏やつくし保育園園児の太鼓演奏、親の会のPRブースの設置など、子供たちを中心とした地域共生社会を体感できる事業を実施したところ、子供だけでなくその御家族等多くの方の参加がありました。近年では、災害時に地域のネットワークが活かされる地域共生社会の推進に注目し、昨年9月に愛知川地域とふれあい共同作業所の合同避難訓練が行われました。このことは他人事ではなく、我が事として捉える地域共生社会の考え方が浸透している好事例と評価をしています。今回の計画は、各取組において、行政機関だけではなく、住民一人一人地域や団体が取り組むことを明確に示しています。地域共生社会は1つの大きな取組を提案するのではなく、地域、世代、各種団体等、様々なカテゴリーがそれぞれのやり方でつながりを持って進めるものと考えております。愛荘町福祉コミュニティ親の会の活動もその1つであり、地域共生社会の在り方を町とともに推進していただけるものと期待しております。

以上でございます。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 次、その計画、パブコメの中に、取組の展開について書かれています。つながりの1つとして人と人とのつながりがあると、その中で地域福祉意識の向上について書かれています。「現状では自治会などの地域福祉コミュニティ組織への加入が減少しており地域における担い手確保が課題となっている」と言うておきながら、「地域における人材の確保、育成の取組では、高齢者、障害のある人、介護や育児の経験者などが地域福祉活動の担い手となる取組を推進します」とあります。大変難しいのではないかと思います、どのように進めていかれるのかお尋ねいたします。

○議長（森野 隆君） 福祉課長。

○福祉課長（小林充周君） 本計画の組立ては、現状や課題、取組の方向性を示し、次に具体的な取組内容を示させていただいております。御質問いただきました担い手づくりや人材育成につきましては、福祉教育の推進と地域における人材確保、育成の2つを取組の柱とし、推進する担当課を明記して、町の考え方を掲載しています。

まず福祉教育の推進では、福祉や人権に関する意識の向上を図るため、人権研修や出前講座の開催の中で学びを広げ、小中学校において福祉教育や福祉体験の機会を充実させ、寄付などを通じて福祉分野における企業の社会貢献活動を推進します。

次に地域における人材の確保、育成では、まちづくりに関する各種交付金等を活用していただきながら地域の課題解決を実践し、そこで生まれる担い手としての意識の醸成を図っていただいております。また、福祉課で養成しております生活支援コーディネーターも貴重な人材として活動いただいております。議員御指摘のとおり難しいところはあると思いますが、計画は現状と課題を捉え、それを解決する取組を提案するものであると認識しております。あらゆる機会を捉え、課題解決に向けた取組が実践できるよう、計画策定後も評価をしていきます。

以上でございます。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） ここの中で、自治会ということが書かれています。私も自治会の活動に参画していたり会議に出させていただいたりしているんですけども、なかなかやはり自治会の中で皆さんの賛同を得られて、このことを進めていこうという雰囲気や醸成にはなかなかない。とりわけ、コロナ禍の状況は難しいと思うんです。やはりまず自治会長、あるいはそれぞれの方に、こういうものの徹底というか、意識高揚を図りながら進めていかないと難しいと思うんです。そのことについては、今後十分力を入れてこの徹底に進めていただきたいと思います。

次の質問です。ボランティア活動、地域活動支援の強化についてであります。「地域福祉やまちづくりを推進する人材を養成するために、集落支援員の養成、生活介護支援サポーターの養成などの事業を実施しました」とあります。継続的な養成事業の推進はどうなっているのかお尋ねいたします。

○議長（森野 隆君） 福祉課長。

○福祉課長（小林充周君） 計画の目標に掲げる、地域の中で人と人がつながる関係

性をつくり、つながりの輪を広げるの実現のために、地域全体の意識づくりを推進する取組として人材育成を上げております。地域活動への参加促進のための情報提供などを職員が行うことで、集落支援員としての役目を果たしており、自治会においてまると活性化プラン事業を実施される際に、関係する職員が地域の協議の場へ出向くなど、一緒に考え提案する体制を継続しています。実際に自治会が取組を実施する場面においては、法的な課題がないかなど、専門的なアドバイス、確認を行っています。こういった取組の中で、買物支援等につながる移動支援の事業や、一人暮らしの高齢者が生活する上で荷物運びなどの少し助けてほしいことをサポートする生活支援の事業が生まれてきています。生活介護支援サポーターについては、毎年、養成講座とフォローアップ講座を開催し、現在111人のサポーターの登録があります。集落でのゆうゆう教室やサロンの運営支援をしていただくなど熱心に活動いただき、町の福祉の推進に大きく寄与いただいています。今後も引き続き、人材育成、人材確保に努めていきます。

以上でございます。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 次に、多様な交流の促進についてであります。障害のある人の交流機関の充実では、「障害のある人と地域住民が交流する機会の創出、障害当事者、その家族の団体や福祉サービス事業所主体の交流事業を支援します」とあります。具体的に各行事への参加がありましたか。今後どのような企画行事を考えておられるのかお尋ねいたします。

○議長（森野 隆君） 福祉課長。

○福祉課長（小林充周君） 愛荘町福祉コミュニティ親の会の活動も御家族による交流の場であると認識しており、また町とともに障害福祉の推進、啓発を推進する団体として、補助金の創設による支援をさせていただいております。また、愛荘町のメンバーもおられる障害のある仲間が結成された音楽グループDドラファミリーには、町のイベントに参加いただき、子供から大人まで多くの方が障害のある方の技術や表現力に関心を持っていただいたことも交流の一環であると捉えています。町外のメンバーがほとんどで、様々なイベントに出演の声がかかっているにもかかわらず、愛荘町の障スポでの出演を御快諾いただけたのも、町の福祉の在り方に賛同いただいているものと思っております。さらに、愛知高等養護学校の障スポのおもてなしコーナーへ

の参加も予定しており、交流促進の要素も含めたよりよい企画となるよう、今後において調整していきます。

以上でございます。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 次の相談支援のつながりの中でありますけれども、包括的な支援体制、重層的支援体制の整備強化についてであります。「支援が届いていない人への支援として、アウトリーチによる支援、学校へ行きたくても行けない子供がいる家庭へ求める情報提供を行い、支援機関につながることで自立をする」とあります。具体的にどのようなことを考えておられるのかお尋ねいたします。

○議長（森野 隆君） 福祉課長。

○福祉課長（小林充周君） アウトリーチによる支援については、子供やひきこもりの人など自発的に支援を求めることができない方を想定し、町や関係機関が積極的に働きかけて情報支援を届けていきます。子供については、社会福祉協議会が振興住宅地を中心に福祉に関する情報誌を配布して、課題を把握すれば自治会での見守り活動へつなげる事業をしています。

ひきこもりについては町が直接把握することが困難であるため、民生委員、児童委員の情報提供によるアプローチ等から支援につなげます。これにより、以前にも答弁しましたように、就労支援A型への通所が決まった例もあります。学校へ行きたくても行けない子供たちへの支援については、教育委員会が実施しているフレンズ愛荘で、不登校の児童生徒の支援をしています。現在、小学生14人、中学生7人の登録があり、室長1人、相談員4人で対応しています。学校の授業をオンラインで結ぶなど学習支援に力を入れ、通学と同様の扱いとしています。このように丁寧な対応をすることで、実際に学校復帰ができるようになった子供もいます。フレンズ愛荘では、保護者が送迎などで訪れた際や学期末の保護者懇談会の際にスタッフによる相談支援が行われており、家族の課題に寄り添う中で関係機関との連携を図ることにもつなげています。

今後も、現在実施している取組の継続とバージョンアップを図りながら、多様化する課題とニーズの包括的な支援を検討していきます。

以上でございます。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） この問題の最後ですけれども、福祉サービス等の充実についてお尋ねいたします。「障害のある人が安心して就労及び日常生活ができるよう、適切なサービスの利用促進、支援体制の充実を図ります」とあります。具体的に年何回ぐらいの相談に来られているかお尋ねいたします。

○議長（森野 隆君） 福祉課長。

○福祉課長（小林充周君） 相談回数の統計は取っていませんが、障害福祉サービスの支給決定者は本年1月末現在、障害者168人、障害児104人、合計272人です。これらの方々は計画相談員、もしくは自らサービス利用の計画を立てておられ、適切にサービスを受けておられます。

以上でございます。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 今回の第5期愛荘地域福祉計画のこの内容について質問させていただきました。非常にその要点の全てを質問できたとは思いませんけれども、やはり書かれている内容について中身あるものにしていただきたいと思ひますし、やはりこの今現状、あるいはこの目標に向かって取り組んでいただきたいと考えております。国のほうからの施策、あるいは定住自立圏構想の中での福祉の枠というんでしょうか、そういう連携もこれから出てくるのかなと考えております。だから、愛荘町単独でできる課題ばかりではないと思ひますけれども、やはり住んでおられるのは愛荘町の住民の方でもございますし、その方たちにやはり一歩でも福祉が進んだなど、よりよい町になったなというような思いで進めていただきたいと思ひますけれども、担当課長の意見を求めておきたいと思ひます。

○議長（森野 隆君） 福祉課長。

○福祉課長（小林充周君） ありがとうございます。本件計画につきましては、計画策定委員の皆様にも熱心にいろいろ御意見いただきながら、まさに手作りの中で実情にあった計画を策定させていただいたというふうに思っております。議員も御指摘いただきましたとおり、愛荘町だけでできない部分というのもございます。広域的に連携を図りながら、この計画を評価しながらという部分で、実のある計画の実行にしていきたいというふうに考えておりますので、御支援のほうよろしくお願ひいたします。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 大きな2つ目のことを質問させていただきます。愛荘町福

祉コミュニティ親の会の設立についてであります。

親の会の設立に当たっての親の思いについて述べてまいりたいと思います。1月19日の日曜日の午後、愛荘町福祉コミュニティ親の会の設立総会がハーティーセンターの中ホールで開催されました。令和4年4月27日に愛荘町障害者親の会の設立に向けて、第1回の役員会を愛の郷の一室を借りて開催いたしました。その後、毎月1回役員会を開催し、令和7年、今年の1月10日で34回の役員会の開催となり、約3年かかりましたけれども、設立趣意書と会則、年間事業計画並びに役員の発表を行い、愛荘町福祉コミュニティ親の会がスタートいたしました。新会長になられた森治久さんからは、「この親の会はつながり活動を重点にしていきたいと思っています。こういうことで今困っているんだというのをお互いに話し合って、どうしていったらいいのか、つながりを強化していきたいと思っています」と挨拶されました。続いて役員になられた方々より、障害児を持つ親としてこの会に寄せる思いを話していただきました。副会長になられた中村倫奈さんからは、「私たちがこの会を立ち上げた理由は、障害のある子供たちが将来にわたって安心し、この愛荘町で過ごせる環境や施設を整えたいという思いから立ち上げました。私たちの子供たちが夢を持ち希望を抱いて成長できる社会を実現するためには、ただ行政の支援を待つだけではなく、私たち自身ができることを積極的に協力し、地域のまちづくりに参加していくことが大切だと思います。以前、学校の研修で日野の福祉施設に行ってきました。その施設は放課後等デイサービス、作業所、施設等を運営されており、障害のある子供から年配の方、そしてひきこもってしまった人の就労支援までを行政と密接な関係を取りながらされていました。今まで私は自分の子供の将来が想像できず、今何をすべきなのか悩むことが多かったのですが、そのとき初めて、こんなふうに将来生活をしてほしい、こんな場所があったらと強く思ったことを覚えています」と話されました。また、幹事になられた方からは、「初めは新しい環境で、毎日自分で誰かとつながりたい気持ちでの参加でした」とあります。「頂いた資料にあったゆりかごから墓場までという言葉を見て、娘の将来を今まで以上によく考えるようになりました。私たちが住んでいる愛荘町に卒業後の働く場所や、私たち親がいなくなった後の暮らしの場所をつくりたいという思いが強くなり、一緒に勉強活動をさせていただけたらと思っています」と話されました。そのほかにも、役員になっていただいた皆さんから意見発表をしていただきました。町長には、当日、来賓として御出席いただき御挨拶も頂きありがとうございます

いました。保護者の意見発表を聞かれて、町長の御意見をお聞きしたいと思います。

○議長（森野 隆君） 町長。

○町長（有村国知君） 愛荘町福祉コミュニティ親の会設立総会におきましては、会員の皆様の思いを拝聴させていただくことができました。全ての御家族、全ての皆様に語り尽くせないそれぞれの物語がおありであることをお教えいただき、大変感銘を受けたものです。障害をお持ちの方、そしてその御家族が安心して暮らし、泣き笑い、幸せを感じ、優しさに包まれた人生をお送りいただけるよう、行政としても御支援してまいりたいと存じます。御家族の皆様の思いに寄り添い、また大変切実な点ゆえに据えられました親なき子の在り方についても共に考え、社会の認知も広げ、御支援でできるよう努めてまいりたいと考えております。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） ありがとうございます。ここで非常に皆さん、やっぱり愛荘町に住んでよかったな、あるいは愛荘町で住み続けたい、皆さん思っておられると僕は思います。やはりこの町で過ごせる環境、町単独だけではなかなかやっぱり規模的なこともありましようし、湖東定住圏との連携等もございます。でも、この町に住み続けたいという思いは変わりないと思うんです。やはり揺り籠から墓場までという言葉が言われていますように、ここで続けていきたい、責任持って面倒見る、あるいは寄り添っていただきたいという思いがあると思いますけれども、もう一度、町長のその覚悟というか思いというものを述べていただければありがたいなと思います。

○議長（森野 隆君） 町長。

○町長（有村国知君） 今ほど河村議員からもお話ございましたけれども、町内においてということがすぐにはかなえられないということができれば、それはもちろんいいんでしょうけれども、町行政のみではというふうにもおっしゃっていただいたのはその部分でございまして、この親の会の皆様も一つのモデルとして大変ふさわしいというふうにお感じになられたのが日野町様でいらっしゃるということかと思います。複数回、この議場においても御質問も頂き、その際にも答弁という形ではございましたけれども、やはりその運営を頂く主体が1つおられるということも先様の強みではあるということは、これは厳然たる現実かなというふうにも捉えておるものでございます。けれども、今回やっぱり目指すべきモデルなりということを持ちながら、かけていく経過していく時間、そして思いということがあると、そのゴールにたどり着きやすくなるという

ふうには思いますので、やはりこの親の会の皆様が行政共に歩んでいこうということ
でしていただき、また親の皆様、その御家族の皆様が本当にお感じになっていること
をまず一緒に共有をしながら、そして行政と共に歩もうというふうにしていただい
ておりますので、行政機構としても私も今日答弁申し上げましたけれども、やはりそ
の社会における認知をより広げていく、そのことを大変社会にとっての大事なテーマ
であると、そのことをしっかりと応援をしてみたいという主体、個人、町民を一
層増やしていくということは大変肝要であるというふうに思っておる次第でございま
す。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） ありがとうございます。障害児を持つ親といたしましては、
やはりなかなか分かってもらえない苦しい思いというのはいろいろあるかと思いま
す。それに少しでも肩に寄り添っていただければ、どれだけかの救いが僕あるか
と思いますので、ぜひ今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、設立総会に参加された保護者の方からであります。第1部の設立総会終了後、
湖東や校区に住む障害のある人で行く音楽団体のDドラファミリーの演奏会があり
ました。指導されている伊藤先生によると、「最初は楽器を鳴らすのが初めての子供さ
んが多く苦労したが、週1回、作業所が済み、終わった後の夜に集まり練習して、こ
こまで弾けるようになります」と話され、感銘を受けました。アンコールもあり、大
きな拍手で終わりました。設立総会に参加された保護者の方から嬉しいお便りを頂戴
いたしましたので、紹介させていただきたいと思ひます。「愛荘町福祉コミュニティを
設立できたことは大きな第一歩であると考えます。普段、養護学校のスクールバスを
待つ僅かな間、何気ないお話はさせていただいていますが、それぞれの障害児を持つ
親としての思いはなかなかお伺ひしたことがなかったので、同じ障害児を持つ親とし
て大変感動し胸が熱くなりました。Dドラファミリーによる演奏や歌声は、普段、生
の演奏など聴く機会の取れない私にとって、つかの間の日常の疲れが癒されるよいひ
とときでした。5年後、10年後、親の会が存続していて、まだDドラファミリーの
演奏を聴く機会があるときには、ぜひそれぞれ親子そろって参加したいと思ひます。
そのためにも、ハーティセンターや愛荘町の他の施設が誰にとっても優しく使いやす
い場所になることを切に願ひしています。また同時に、ハード面だけでなく、愛荘町で
暮らす方々の障害者への理解が深まり、親子で地域で安心していつまでも暮らせる日

が続くことを願っています」とありました。福祉政策監には、最初から最後まで参加していただいております。そのときの感想と保護者の方の願っておられる御期待にどう応えていただけるのか、御回答願いたいと思います。

○議長（森野 隆君） 福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） これまで、障がいの種別や病気別の親の会はありましたけれども、障がいの種別や病気の種類を超えた愛荘町全体の親の会、愛荘町福祉コミュニティ親の会の設立は全国的にも希少で、愛荘町として素晴らしい親の会が誕生したと大変うれしく思っています。今回の設立総会では、障がい児を持つ親御さんの悲痛な思いや願いを聞かせていただきました。そんな中、親御さんが自ら立ち上がり、この子のために町を変えていこうとする原動力を感じさせていただき、万感胸に迫るものがありました。自らが学び、受け身で、要望団体ではなく、つながりを強化していく活動を行っていききたいという皆様の思いをしっかりと受け取らせていただき、行政といたしましても伴走支援させていただきたいと存じます。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） ありがとうございます。今後、今年は障スポもあります。それぞれの活動を通じて、このコミュニティ親の会も進めていながら、それぞれの活動、それぞれの思いというものをまた続けてまいりたいと思いますので、御協力よろしくお願ひしたいと思います。

次の質問に行きます。愛荘町の出生数と妊婦とお腹の赤ちゃんに対する施策についてであります。

1番目、愛荘町の最近の出生数はどうなっていますか。増加傾向になっているのでしょうか、減少傾向になっているのでしょうか。そのことについてお尋ねいたします。

○議長（森野 隆君） 福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） 合併当初の平成18年の出生数は199人、その後増加傾向を示し、平成25年には269人でした。以降、増減はあるものの、平成29年までは出生数200人を切ることはありませんでした。しかし、平成30年以降の出生数は減少し続けており、令和5年は年間出生数141人で、平成25年のピークのとときと比較すると約半数となっている状況でございます。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 非常にその少子化が止まらないというか、国でも70万を切っているという、非常に少子化対策というのは大切なことではないかなと思っております。

次のところに入ります。円ブリオ募金による命の救済活動について話を聞き、お尋ねしていきたいと思っております。

妊婦とお腹の赤ちゃんを大切にす運動の原点は、昭和57年4月23日に再来日されたノーベル平和賞のマザーテレサが、「日本は美しい国だが中絶が多く心の貧しい国です。その子は神の似姿につくられた子です。愛するために生まれてくるはずの子供です。そして世に対する神の太陽となり、世の中を照らしてくれる新しい命の命のはずです。愛の反対は憎しみではなく無関心です」と述べられました。

この生命尊重運動の熱心な応援団長で元NHKのアナウンサーであった鈴木健司さんは昨年3月に95歳で亡くなりましたが、最後まで応援してくださいました。その1つが円ブリオ基金の名付け親として知られていて、1円玉と8週以内の胎児を結び付けられました。分かりやすく、大切にすべき命に対する考え方を示してくださいました。大切にされることのない1円玉の力によって、40年に及ぶ運動の中で1,000人を超える命が救われ誕生いたしました。

愛荘町でも何年にもわたり多くの方々の御支援、御協力を頂いております。円ブリオ基金で無事出産された妊婦さんからの御礼の手紙の中に、あるSさんからの手紙では、「出産を終えて今日退院いたしました。男の子で名前はレオ君と名付けました。ギリシャ語で神からの贈物という意味があるのでこれにしました。可愛すぎて可愛すぎて本当に産んでよかったし、何があっても私が守り抜くからという気持ちで頑張っていこうと思います。今回は御支援いただき、本当にありがとうございます。出産頑張りましたねと言ってもらってすごくうれしいです」。またある方、Iさんは、「円ブリオ様の御支援のおかげで無事に出産することができました。心からお礼申し上げます。赤ちゃんには真っすぐ人生を駆け上がれという思いで名前を付けました。高齢出産で精神疾患、家族に頼れない、経済的にも子育ての余裕がない中、こんな状況なのに子供を産んでよいのか、産む資格はないのではと精神的にも金銭的にも追い詰められていました。それでも出産をあきらめずに希望を持つことができたのは円ブリオ様の支援のおかげです。誠にありがとうございました」。追伸として、「出産前に入籍いたし

ました」というようなお手紙でありました。その他多くのお手紙があったということを知っています。このような多くの国民の地道な募金活動によってこの運動が支えられ、尊い胎児の命が誕生してくれていることを思うとき、授かった命を産まれるように、出産されるように妊婦に寄り添いながら支援をしていただきたいと思いますのですが、福祉政策監の見解を求めたいと思います。

○議長（森野 隆君） 福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） 円ブリオ活動は、円ブリオ募金により出産費や健診費用の支援を行うこと、またお腹の赤ちゃんを喜んで迎えることができる地域づくりのための講演会、学習会や命の授業、妊娠SOSホットライン等の活動がされていると認識しております。町ではこの活動に賛同し支援を行っています。授かった小さな尊い命がこの世でしっかり生を受けることができるよう、妊婦とお腹の赤ちゃん応援事業として、妊娠期から出産期、子育て期まで切れ目のない支援ができる体制整備に努めています。特に妊婦さんの健康な体づくりや安全な出産に向けた個別相談、ふれママ教室等により、妊娠、出生に合わせたきめ細かな支援を実施しているところでございます。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 愛荘町の場合についてちょっとお尋ねいたします。出産を悩んでおられる方の相談に乗って、ぜひ出産につなげていきたいと思うことに取り組んでいます。令和5年12月議会で、愛荘町妊婦とお腹の赤ちゃん子育て応援宣言に関する決議を議決いただきました。赤ちゃんが無事に誕生ししっかりと育つ環境をつくることは、愛荘町に生きる私たち一人一人の大切な使命ですとうたっています。今は妊娠届出時に5万円と出生時に5万円の産産子育て応援事業があり、充実してきたと思いますが、届け出る前の段階で出産を躊躇され悩んでおられる方がたくさんおられるのではないのでしょうか。それらの方の相談に乗っていただいて、ぜひ出産につなげていっていただきたいと思いますが、今の現状とその取組について、福祉政策監の見解を求めたいと思います。

○議長（森野 隆君） 福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） 現行の産産子育て応援交付金事業は、令和7年度から妊婦のための支援給付事業となり、妊娠届出時から妊婦や、特に0歳から2歳の低年齢期の子育て家

庭への伴走型相談支援事業の充実を図るものとされています。議員御質問の、妊娠届が出る前の出産を躊躇され悩んでおられる方の相談は、健康推進課で直接受けることは少ない状況でございます。妊娠が分かった時点でまずは医療機関への受診となりますので、そこでのきめ細かな支援が重要になってくると考えております。県内では、ハイリスク妊産婦、新生児援助事業を実施しています。受診された医療機関で本事業の対象者として訪問指導が必要と判断された場合は、各市町にその連絡表が送られ、継続的な支援ができるシステムが構築されています。仮に妊娠を継続することへの不安や戸惑い等があり、ハイリスク妊婦として支援が必要とされた場合には、その連絡表に基づき丁寧に個別対応を行っております。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） このことについてちょっとお尋ねします。こういうことについて、出産に悩まれていることについて、湖東定住圏とか、あるいはその圏域での相談とかそういうことはあったのか。あるいは産婦人科との相談とかそういうことの相談、あるいは県の福祉課とかそういうところでの相談はあったのか、あるいは相談があってどのように進んでいるのかについて、もし知っておられる範囲で教えていただければありがたいと思います。

○議長（森野 隆君） 福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） 県内ではハイリスクの妊産婦さんの事業等をさせていただく形としてありますけれども、それ以外にも気になる妊婦さんであったりとかは、各市町に連絡等を頂いているような状況です。例えば、愛荘町の方が近隣ではなく少し遠い県外の病院に行かれていろいろ悩んでおられるという方につきましても、県外から直接愛荘町の役場のほうに連絡があってその方の支援をさせていただくというような仕組みもできておりますので、本当に医療機関におかれましても、そういう市町との連携も充実しておりますし、また転出転入が多い中でございますので、そういった意味で各市町の連携も図らせていただいているところでございます。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 先ほどの生命尊重センター円ブリオ、あるいはその他でNPOとして24時間、その悩んでおられる方の電話を受け付けますよというボランティアというか、そういう団体もあるんです、聞いてるところでは。やはり誰と相談し

たらいいかと、本当にお友達になるのかあれやけれども、実際に公的なところでの相談しても安全に出産できるように支援する機会があれば本当にうれしいなというようなことの思いでありますので、ぜひそのような機関で1人の命が救われるということとは大切なことでもありますので、ぜひあらゆる手だてを取り組みながら取り組んでいただきたいなと思っております。回答は結構でございますので、その取組についてであります。

次の質問です。鈴木健司さんは、胎児期からの読み聞かせの大切さも話されています。鈴木健司さんは、命の講演会で次のように話されています。「生まれたばかりの赤ちゃんのすぐ傍らで、赤ちゃんがお腹の中にいたときにお母さんが声を出して読んでやった童話の本を読むと、何と赤ちゃんは泣いていたのをやめてお母さんの声のするほうを見ようとするのです。覚えているのです。ちゃんと記憶しているのです。羊水を通して自分の体に伝わってきた音の波が、空気による波動が変わっても、赤ちゃんは体全体でお母さんの朗読を聞いていたのです」。また、読書の大切さ、勉強への効果についても話されています。テレビが発達し、急激に普及すると、それと同時に始まったのが日本人の本離れです。それは大人、子供の区別なく、垂直に近いほどの右肩上がりの直線を描いています。この読書離れの右肩上がりの線と全く重なり合っていたのが家庭内暴力の増加の線だったのです。ある調査結果ですが、まず1時間読書をしてから勉強した小学生と、いきなり勉強した子供では勉強の内容はどれくらい理解できているかを調べたところ、読書をしてから勉強した子のほうが理解度が2倍から3倍も高かったのです。つまり、読書は1人でやる努力が必要ですから、読んでいるうちに脳の前頭葉の奥にあると言われる部分に集中力が生まれます。そのまま勉強に入るのが理解がすぐに始まるらしいのです。いきなり勉強した子は集中力をつくるまでに時間がかかったりします。理解がすぐに始まらないのです。さらに、1時間テレビ見たり、テレビゲームやってから勉強した子の理解はどうだったでしょうか。何とゼロだったのです。キーを叩けばあらゆる情報が画面に入ってくるコンピューター時代です。しかし、表れた情報はほとんど他人の考えた情報です。これからは何も考えない人が多くなる時代となります。ノーベル賞級の科学者が、もう一度紙と鉛筆から始めようと必死に訴えています。そこで、愛荘町の未来を拓く愛荘16年教育に匹敵するものがあると思いますが、教育長の見解を求めます。

○議長（森野 隆君） 教育長。

○教育長（徳田 寿君） 胎児期からの読み聞かせや読書活動の重要性については、御紹介いただいた鈴木健司さんや河村議員と私も認識を一にするものでございます。例えば、胎児期に親が読み聞かせをすれば、絵本の持つ短い言葉ながら洗練された言語の世界や、効果的な絵画的描写により、読む側の情緒の安定にもつながります。当然のことながら、親の情緒の安定は胎児の心にもよい影響を与えと言われております。読み聞かせや読書の導く世界には様々な世界があり、そのことは多様なものを広く受け入れる寛容の心や、人間への洞察力を育てていくことにつながります。また、知的領域への関心を育み、長期的な学習のベースをつくるという面において、読書はやはり重要な役割を担うものと確信しております。そうしたことから、今後も未来を拓く愛荘16年教育においては、読書活動の推進を重要な取組として位置づけ、全庁的に取り組んでまいります。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） ありがとうございます。読書の大切さは本当にと申します。私、最近、16年教育の今つくられている中の、温かい親子関係、家族コミュニケーションをつくるということが書かれています。最近、イギリスの小児科医のJ・ボウルビィの、乳幼児期の子供と母親との関係性、愛着関係がどのように構築されたかが、その人格形成に強く影響を与えるとの考えのアタッチメント行動というものを学びました。子供の愛着行動4段階であります。小さいときに受けた教育というものは、母親と子供の愛着形成がその子の一生を支えるというか、それで結論的には母親の子供に対する応対の態度が子供の心に与える影響は大きいと言える、乳児の頃に抱えた心のストレス、不安、寂しさの葛藤をすれば、その後の発達にも大きく影響する。子供は母親とのやり取りの中で、自分を受け止めてくれる大人や他者、理解してくれる大人や他者を認識し、その経験を基礎として人間を形成していく。母親を信頼できる乳児は、幼児期、青年期となっても、母親の言葉や行動をお手本として自分の中に取り入れていくということが実証されたというか、その実験結果でも表れているというように考えております。私は、教育委員会だけでできることでもありませんし、全庁的に取り組んでいくことになろうかと思っております。この温かい親子関係が家族コミュニケーションこそが、この愛荘の教育の基礎になって、その後の16年教育の土台ではないだろうかと思っておりますが、教育長の見解を尋ねたいと思っております。

○議長（森野 隆君） 教育長。

○教育長（徳田 寿君） ただいま非常に幼児期の教育、あるいは人生100年にわたる教育の中での大事なポイントを御指摘いただきました。今、本当に愛着障害というような言葉もよく聞くわけでございます。本当に小さいときのコミュニケーションから来るそのいろいろな心の交流、そうしたものが子供の心の安定につながり、そしてもちろんそのことは知的な好奇心とかあるいは人間関係をつくるという、そういう力にもつながるといことは言われております。御紹介いただいた愛荘16年教育のこの新しいポンチ絵の中では3本の大きな柱を示しておりますけれども、その中で一部改訂しました中身として、これまで減メディア・親読書という言い方をしておりましたけれども、そういうメディアに対抗する読書という意味ではなし、やはり生活の中に読書をもっと取り込んでいく、そのことが議員御指摘のコミュニケーションとか、あるいは愛情の形成とかいうことにもつながるといことで、次年度からは楽読書・かつメディアというふうなことで、生活の中での読書を楽しむと、あるいは読み聞かせを楽しむというようなことをしっかり根付かせてまいりたいというふうに思っております。今後も、今、御指摘いただいたことを中心にしながら、温かい家庭づくりにもつながるような取組を福祉部局とも連携しながら進めてまいりたいというふうに考えております。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 7年度予算概要の一番最初に、「妊婦、出産子育てから教育に至るまでの切れ目のない支援により、安心して子供を産み育てる環境を整えるとともに、心の豊かさや生きがい、自身の健康などに寄与する社会参加の促進やつながりの構築を推進することで、子供から高齢者まで幅広い世代が元気に育てる人づくりを進めます」という、生涯教育と言いましょうか、そういうようなことが書かれています。非常に大切なことだと僕は考えておりますし、この気持ちに変わらないだろうと思いますが、町長に、この決意というか、予算編成のこの思いというところはどこにあるのかだけお尋ねしておきたいと思っております。

○議長（森野 隆君） 予算に対する町長の思いですね。

10番、河村議員。

○10番（河村善一君） 重点で、しっかりと妊婦から子育て、教育ということに重点を置いて取り組んでいただいているということをお思いますので、非常に子供にとっても大切なことだし、そのことをお思いますので、町長、急に振ったのであれですけど、

ほかの方でも結構ですので答えていただいて、やはり愛荘はこういう精神で取り組んでいるということ、子供のことを考えているよ、胎児のことを考えているよというような姿勢をちゃんと示していただいたらありがたいなと思います。

○議長（森野 隆君） 町長。

○町長（有村国知君） すいませんでした。徐々に取り組んでいただいてというのが、町長に取り組んでいただいていた話だったので、ちょっとそこが私が捉えられなかったもので、大変失礼をいたしました。今日の河村議員の御質問を拝聴しながら、本当に大局に立った、また命への本当に愛を持っての様々な観点で御質問を頂きました。また、それぞれ親の会の設立に向けても、河村議員が本当に皆様とともに御尽力を頂いたということで、このことが今年やっとなったということも、今日も御披露を今までの歩みとともにいただいたということも大変ありがたいというふうに思っています。そして、このアタッチメントの事柄にもお触れも頂きましたし、その読書ということの人格に及ぼす大変な重要さということもお話を頂きました。

総合的な部分、一つ一つのパーツパーツとしても私ども取り組んできておりますけれども、それが相互、より連携しながら、効果を発言を一層できるように私たちも努めてまいりたいと思いますし、またいろんな部分でアドバイスを今後も頂きながら、町内の皆様にもそういう思いや思想という、また愛情ということが背景にあつてのいろんな取組や施策であるんだよということと共に広めていっていただけるよう、またお力も賜りたいというふうにも思いますし、大変ありがとうございます。

○議長（森野 隆君） 10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） ありがとうございます。以上で終わります。

◇ 上田太治君

○議長（森野 隆君） それでは続けます。7番、上田太治君。

7番、上田太治君。

○7番（上田太治君） 7番、上田太治。一般質問を行います。本日は4点についてお尋ねをしたいと思います。

まず最初に、一般競争入札及び指名競争入札または随意契約の方法や規定についてお尋ねをいたします。次に、公民館及び秦荘支所の利用状況と職員の配置についてお尋ねします。3点目は、町東部地域の振興発展についてお尋ねします。また、4点目

には議会報告会について町長にお尋ねしますので、よろしく願いいたします。

まず最初に、山川原の小集落地区工事についてお尋ねします。

そもそもこの工事は、3回も入札をし直さなければならなかったことが間違いだと思います。1回目の入札が中止になった時点で、その原因を十分調査し、その後2回目の入札に臨むべきであります。いつもこのような検討や調査もなく入札を繰り返されているのでしょうか。また今回は、3回目の入札で業者が決定し契約も締結しているにもかかわらず、その後、契約解除の申入れをされております。業者には何ら過失がないにもかかわらず、町の一方的な契約解除で紛争にまで発展してしまいました。このような契約解除は愛荘町始まって以来のことであり、弁護士費用や損害賠償等多額の費用は、町税の無駄遣いであります。また、今まで町の指名業者として数々の工事でお世話になった相手業者に対して申し訳なく、多くの入札工事をしてきた町としても恥ずべきことと思いますが、どうでしょう。また、東円堂運動公園においても、3回の入札後、落札業者がなかったとはいえ、1者のみの業者と協議の上、当初設計金額の数倍の金額で随意契約をしたことは問題でないかということをお尋ねします。

○議長（森野 隆君） 企画政策監。

○企画政策監兼みらい創生課長事務取扱兼給付金・定額減税一体支援事業推進室長事務

取扱（西川傳和君） 今回の件につきましては、これまで議会等で説明させていただいた経緯のとおりでございますが、御指摘いただきました同一工事における入札時の異なるミスの原因であるチェック漏れについては、再発防止に努めているところでございます。本工事に係る契約解除については、町が工事の設計をするに当たって現場の確認が必要であると認識していたにもかかわらず、不十分な設計と現場状態で入札を進めたことから、現場と設計に差異が生じ、工事の施工に支障を来したことが原因でございます。この件について庁内で対応を協議した結果、建設工事契約約款第42条に規定されています、発注者の任意解除権により契約の解除を決定したもので、先様に対してはその理由を説明した上で謝罪をさせていただきました。

次に、滋賀県建設工事紛争審査会では、あっせん、調停、仲裁のいずれかの手続によって紛争処理をしていますが、調停はあっせんよりも技術的、法律的な争点が多い場合の手続であり、職員では対応が困難であるとともに、調停で解決した場合、民法上の和解としての効力を持つことから、顧問弁護士に委任したものでございます。さらに、本年1月29日に先様が申請された仲裁についても同様に顧問弁護士に委任し、

早期の解決を図っていく所存でございます。町といたしましては、先様に多大な御迷惑をおかけしていること、また本件の対応に貴重な税金を使っているということは認識しておりますが、現在、先様は審査会に仲裁の申請をされていることから、その仲裁結果や関係規定に基づき誠意を持って対応してまいります。

○議長（森野 隆君） 教育次長。

○教育次長兼教育振興課長事務取扱（陌間秀介君） 令和5年度に実施をした愛荘町豊国運動公園フェンス取替工事に関しましては、愛荘町建設工事等入札執行要領第10条第3項に基づき、入札の辞退などにより入札の参加者が1人となる場合は入札執行を取りやめるものとするところから、入札執行を取りやめたものでございます。よって、新たに令和5年度において、豊国運動公園フェンス取替工事として、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の競争入札に伏し入札者がいないとき、または再度の入札に伏し、落札者がいないとき及び第5号の緊急の必要により競争入札に付することができないときに基づいて起工し、随意契約を行ったものでございます。第5号の緊急性につきましては、令和5年6月に関係自治会から、フェンスの劣化が激しい豊国運動公園について、利用者に危険が伴うおそれがあることから早急に修繕してほしい旨の要望があり、町としましても、現場の状況を考慮し早期対応に努めたところでございます。

次に、議員御指摘の契約金額に関してでございますが、当初設計で計上していた材料が現地の既設フェンスと合わないことが判明をしたことにより修繕ができなかったことから、改めて現地を精査し、工事の仕様を変更した上で契約を締結させていただいたものでございます。

以上のことから、地方自治法第234条第2項の規定に基づき、随意契約を締結したことについては問題はないものと認識をしているところでございます。

以上でございます。

○議長（森野 隆君） 7番、上田太治君。

○7番（上田太治君） 議長にお願いを申し上げます。質問の通告書及び先ほど読み上げました質問書の中では、山川原地先の問題を一番に申し上げましたが、時系列から申し上げても、また論点の進行上からも、豊国運動公園地先の工事のほうが令和4年度から始まっておりますので、そちらのほうから再質問をさせていただいてもよろしいでしょうか。

○議長（森野 隆君） はい、認めます。

○7番（上田太治君） それでは、東円堂地先の運動公園のフェンス工事について再質問をさせていただきます。本来、第1回目の入札が中止及び入札者がなかったのであれば、その原因を十分追究し、当然、現地を見て、設計というのは現地を見ずに設計をするということはまず考えられないわけですし、2回目の入札に臨むべきであるという具合に思いますし、その間、県から専門職としてOBの職員を調査員として雇用されているようでございますけれども、政策監のほうではそれについてどのような関わりをされておられたのか。1回目もそのことが十分調査されていなかった、2回目も十分調査されていなかった、3回目で初めて1者のみ業者の入札があったけれども、契約金額に到底及ばなかったので1者のみと随意契約をしたという説明ですけれども、何回もチャンスがありながら現場を見に行っただのが最後であった、私はこれは入札を施行する担当者としての落ち度が十分あったという具合に思いますが、それについては政策監、どのようにお考えですか。豊国のほうです。

○議長（森野 隆君） 豊国のほうは教育部局でありますので。

○7番（上田太治君） 教育部局ですけれども、私は入札の仕方についてを聞いてるんです。いいですか。

○議長（森野 隆君） じゃあ、入札の仕方ということでしたら、経営戦略課長。

○7番（上田太治君） じゃあ、どなたでも結構です。

○議長（森野 隆君） そしたら、どなたでも結構です。

総務政策監。

○総務政策監兼会計管理者（生駒秀嘉君） ありがとうございます。まず先ほど、県のOBの検査員、調査員のこととおっしゃいましたが、検査員になりますので、入札執行につきまして検査員につきましてはその部分がかかっていないというところで、その部分についてはお答えをさせていただきます。

入札のその今の中身につきましては担当のほうからとなりますので、よろしく願いしたいと思います。

○議長（森野 隆君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長兼国スポ・障スポ開催推進室長（水谷徹也君） 令和4年度の2回の入札で不落になった際に、しっかりと現地の調査もした上で、施工方法を見直し、また令和5年度の入札では設計額を大幅に見直しております。それでも応札者が1者し

かななかったことから、やむを得ず随意契約といった方法を取りましたけれども、やはり入札が不執行に終わった際には、しっかりと現地と設計内容が合っているのか、特に乖離があった部分はどこに原因があるのかを検証しまして、改めて発注することが大変重要であったと感じておるところでございます。いま一度、現状を見つめ直しまして、今後におけます本課業務の執行体制、また進捗についても遅れが生じないように、しっかりとスケジュール管理をしまいたいと考えておるところでございます。

○議長（森野 隆君） 7番、上田太治君。

○7番（上田太治君） ただいま答弁にありましたように、やはり入札がうまくいかなかった場合にはしっかりと調査をして次に臨む、それは当然のことと思いますので、そのようにしていただきたいと思います。

続けて、山川原地先の問題について、これは次の年、令和6年に入札がされております。当然その検証は生かされていると思っているんですけども、これも同じように第1回入札で漏れがあって中止をしている。その原因は十分調査されていれば2回目入札はなかったはずでございますし、そこにでもまた漏れがあったと。さらに3回目の入札では、落札者があって契約をしたんですけども、やっぱり漏れがあったから契約を解除した。契約の解除については、町は一方的に解除権があるから業者の同意を得なくても解除できるんだという主張ではありますが、我々一般の業界では、相手に何ら瑕疵がないのに片方が一方的に解除なり打ち切りをすることは考えられません。副町長は、賠償金さえ払えばいいんだと、賠償金は恐らく工事費よりも超えないだろうというような見解を述べられておられましたが、賠償金を払うてなおかつその後に再入札をすれば、全体としての町税の負担は多くなることは誰が考えても目に見えて明らかでございます。畑田地先のフェンス工事が随意契約になったのにもかかわらず、山川原地先の工事をお互いに話し合いによって追加工事なり随意契約にもっと早い段階でなれなかったのか、そのことについては大変疑問に思います。議員の皆さんも、先般の補正予算の中で反対と思われる質問が2名ございました。また、2名の退場で4名の反対で何とか採択といいますかされたわけですけども、議員の皆さんも大変これは問題であるという認識を持っておられることは確かでございますと私は思っております。このようなことが、前の年に畑田であったことが……。

○議長（森野 隆君） 上田議員、東円堂。

○7番（上田太治君） 東円堂、申し訳ございません。東円堂の運動公園であったことが十分勉強されておらず同じようなことが再度繰り返されておる。しかも、話合いといえますか、不服申立て審査会に出るのに、相手方は工事業者が出ておられます。町の職員は司法書士でも税理士でも同じですけども、それに関連する司法書士であれば、裁判所や法務局へ十数年勤めれば簡易に資格を取る要件になっております。また、税理士でも同じようなことが言えます。町の職員も、十数年お勤めになれば簡易な形で行政書士の資格がもらえるほど、法律やこういう問題については卓越しておらなければならぬ、一般の工事業者よりもそういう法律や問題についての対応には慣れて勉強すべき立場であります。高圧的に弁護士を立てる、それも町税で、税金でそういう弁護士を立てる、そういうことは私は恥ずかしいし挑戦的なことである、話合いの場にはやっぱり本人が行って話合いをするというのが本来の建前でありましてと思っておりますが、それについては町長及び副町長、どのようにお考えですか。

○議長（森野 隆君） 副町長。

○副町長（杉本甚治郎君） お答えします。

弁護士費用の発生の原因であるそもそもの調停の申立てにつきましては先様から申請されたものでありまして、その内容につきましては町が決定しました契約解除を取り消すというものでございました。現時点では歩み寄るといえるようなことができるような内容でないということにつきましては、さきの全員協議会で御説明させていただいておりでもあります。当事者の歩み寄りが必要となる調停の場におきまして、このように相反する内容で対応が困難な案件であるんですけれども、解決に向けた審議をスムーズに進めるために町の顧問弁護士に代理人を依頼したというものでございます。

○議長（森野 隆君） 町長。

○町長（有村国知君） 今ほど副町長も御答弁申し上げましたけれども、今ほど上田議員がおっしゃいました弁護士の方をということが、その高圧的、挑戦的かということに関しては、それぞれの捉まえ方がございますので、今般のこの滋賀県建設工事紛争審査会ということの対処、対応ということでございますけれども、通常より当町としての顧問弁護士がいてくださるわけでございますけれども、この紛争審査会ということにおいては、その顧問弁護士等々も様々に御相談申し上げていく中で、顧問弁護士の方に代理人として対応いただくということになっていったものでございます。

また、なお全てをこの紛争審査会なりというふうな、その前段としても、やはり先様との町内の事業者でもあるだろうというふうにおっしゃっていただくのは本当にそのとおりでもございますから、しっかりとその辺りは心を尽くしながら、担当課においても様々に御相談ということは今までも重ねてきておったものでもございます。

○議長（森野 隆君） 7番、上田議員。

○7番（上田太治君） 全く歩み寄りがないのであれば、別段、弁護士を雇わなくても、町の職員がその審査会に行つて、私どもには歩み寄る余地がありませんと申されたら、この百何万円のお金は要りませんわね。そうでないですか。またこれが本裁判になって町がもし勝てば、町が勝てば損害賠償金を払って契約を再度することになるんですね。町が負ければ契約の解除が無効ですので、当初の契約どおり進みます。私はこの町が負けることこそが、町民の税金を一番少なく使わなくて済むという、悲しい結果を望まなければならない、そのことに対しては大変悲しい思いをしております。また、もし万が一、町が勝つて、更にそういう方法で二重の損害賠償と工事契約という町の税金を使うことになれば、当初に早く手を打っておけばそういうことにならなかったのということで、これは大きな町の税金の無駄遣いですよ。ミスがなければ、1回なり2回の入札で済んでるわけですのでね。これは、今度は業者としてでなく町民として決定者に対して住民訴訟をしていかなければならない、そのように思っております。ぜひともそのようにならないように対応していただきたい、私はそのように思うんですけども、今後の対応について、多分、審査会の結果が出ていないので仮定のお答えはできません、石破さんのおっしゃるかもわかりませんが、行政は全て仮定の中で動いております。災害対策についても交通安全についても、やはりこういうときにはこうするんや、こういうときのためにこういう対応を取ってるんやと、そういうことも含めてお答えを頂きたいと思つます。

○議長（森野 隆君） どなたでもよろしいですか。

○7番（上田太治君） じゃあ、当然、町長もしくは副町長。

○議長（森野 隆君） 副町長。

○副町長（杉本基治郎君） お答えします。

議員おっしゃっていただきましたとおり、今現在、先様から契約解除の取消し、または再契約を求めるといった内容での仲裁の申請を頂いておりますので、この仲裁の結果がどのようになるか分からないという状況でございますので、その結果が出た段階

で改めて関係規定等に基づいて、よりよい決着に向けて誠意を持って対応してまいりたいというふうを考えております。

○議長（森野 隆君） 7番、上田太治君。

○7番（上田太治君） 業者に対する誠意はもちろんでございますけども、町民にとってどうなることがいいのかということのを第一義に考えて、小異を捨てて大同に就くと言いますか、清濁併せのむと言いますか、やはり私はこういう問題はトップの決断次第やと思いますので、そのことを期待をして、この問題についてはとどめます。

次に、公民館及び愛荘町の利用状況について尋ねます。

町長は、住民説明会の中でも愛知川公民館は解体、廃止する計画であると説明され、昨年度まで任用職員で運用されておりましたが、本年より正職員の管理職、つまり課長クラスの職員を配置されましたが、その効果、利用者数はどのように表れているのか、またその目的は何だったのか、当然、数倍の経費がかかるわけですので、何らかの目的をなしに投資はしません。

次、愛荘町の秦荘支所の利用者数、また配置職員の数や管理職職員の必要性についても尋ねます。

○議長（森野 隆君） 総務政策監。

○総務政策監兼会計管理者（生駒秀嘉君） まず、愛知川公民館の関係についてお答えをさせていただきます。愛知川公民館については、効果及び利用者数等に大きな変動、変化はございません。ただ、コロナ禍により利用を一定制限させていただいておりましたが、ダイフル以外の施設の運用についてはコロナ禍前の状態に戻しているところでございます。利用者も少しずつ増えてきているところでございまして、職員の人事配置につきましては、役場という組織全体を見ながら総合的に判断し実施しております。

続いて秦荘支所の部分でございましてけれども、秦荘支所の利用者数は基本的には把握しておりませんが、事務の受付件数を把握しておりますので、その部分を申し上げます。支所となった令和6年9月17日から令和7年1月末までの間でございまして、1日当たりの平均受付件数は23件でございます。また、配置職員の数については、正規職員4名、会計年度任用職員3名の計7名となっております。

次に管理職の必要性ですが、他市町の支所の状況を確認してみますと、支所長に課長職や次長職、場合によっては部長職が配置をされております。そのようなことから

も、秦荘支所の規模に応じまして、支所長として課長職を配置をしているというところでございます。支所としてスタートする1年目においては試行錯誤の時期でもあり、支所の業務が円滑に進むよう職員を配置しているところでございます。

以上でございます。

○議長（森野 隆君） 7番、上田太治君。

○7番（上田太治君） 公民館につきましては、私はその管理職、わざわざ任用職員から管理職を配置した目的を聞いております。また、秦荘支所については9月17日から7月の1日まで、つまり庁舎統合直後のことでございますので、これはまだ建設・下水道課が秦荘支所にあるのかなと思って行っておられる方もかなりおられると思いますし、これよりも多いことはまずないと思います。ちなみに、1日20人の方が支所に来られて、1時間もしくは1時間半の対応をされたのであれば、多分これは、いや来たけど愛知川へ行ってましたよと、そのままずっと帰らした人も入っていると思うんですけども、であれば、7名の職員が8時間、勤務時間いっぱいいるわけですね。町民との対応ばかりが仕事ではないと思いますけども、もっと必要な部署があるんじゃないのかな。人員が足らん人員が足らんと言いながら、そこにそんだけの人数が本当に必要なのか。また、管理職が2名も必要なのか。ただいま、他市町村の例を挙げられました。決して他市町村の例に従うことは要りません。実情に合わせ必要に合わせて配属するのが当然、旨であるし、効率的な運用であると思います。それについてお答えを頂きます。

○議長（森野 隆君） 総務政策監。

○総務政策監兼会計管理者（生駒秀嘉君） それでは、まず公民館のほうからお答えをさせていただきます。まず、昨年度までおっしゃってますように、会計年度任用職員ということでございました。もともとその方でございますけれども、町の職員を退職をしていただいて来ていただいているというようなところで、役場の当時につきましては総務部長また教育次長も経験をしていただいた方で、知識、経験として豊富で、館長としての責任、マネジメントについては申し分ないというところでございます。逆に会計年度任用職員でなかなかそういうような実績のある方はおられませんし、会計年度、正職というよりも、やはり責任を持って館を運営していただける方というところがポイントじゃないかなというふうに思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。

それと支所の件でございますけれども、まず支所の規模でございますけれども、今年度、正職が4名、会計年度が3名ということで、全てフルじゃないんですけども、会計年度はパートということで時間制限がございますけれども、現在そういう形でさせていただいているというところでございまして、来年度については正規の職員を3名といたしまして、会計年度については3名の6名で対応させていただこうかなということで、今ちょっと人事のほうも考えているところでございます。

管理職でございますけれども、2名配置しております。今年度は1年目というところもございまして、様々なお客さんが来られるということもございまして対応も非常に複雑となってきておりますので、経験の豊富な管理職のほうを配置をさせていただいているというような状況でございますので御理解いただきたいと思います。

○議長（森野 隆君） 7番、上田太治君。

○7番（上田太治君） 人員配置については、それぞれの職員さん、どこかに配属させていただかなければなりませんので、その苦勞はよく分かります。信長の愛ではございませんけれども、できるだけそれぞれの中で適材適所に合うように御苦勞させます。これにて質問はとどめておきます。

次に、町長は3年前の選挙で、東部地区の振興を公約の一つに大きく掲げられましたが、3年間の成果または2期7年間の成果や実績をお聞かせください。また、残る1年間で何を成し遂げようとしているのかもお尋ねいたします。

○議長（森野 隆君） 町長。

○町長（有村国知君） 町東部地域の振興は私が大変重要視をしている取組です。と同時に、この時代において箱物やハード重視また行政のみで担っては、持続性、発展性のある展開は難しい、また農業振興の観点からも地域の農地の適切な保全の重要性という観点も併せてございます。

まず取り組みましたのが、農業インフラの更新、整備より約50年経過した用水路などを地下化する秦荘1期工事を、土地改良区や地域の方々の御協力を得ながら着工することができました。また、小中学校の通学路、各道路の安全性向上や拡幅に関しても取り組んでおります。秦荘支所前の歩道整備も、県への働きかけにより工事の進捗を見ており、また町による歩道整備に関しても、秦荘JA様の前、宮川石油さんのエリアにおいても着実に進めていくことができいております。現在は、蚊野においても道路拡幅事業を進めております。また、宇曾川をはじめ、河川に架かる複数の橋梁も、

更新作業や歩道橋の整備等を着実に実施してまいりました。私が町長を目指した際に、町内にラウンドアバウトをとお訴えもしてきたラウンドアバウトは、県の協力を頂き、今年中の供用を目指して工事が目に見える形で進んでおります。サンスチールさんから307号につながる交差点においても、右折だまりを設置し、良好な交通環境を生んでおります。なお、同交差点においては、地域の方々の御理解と御協力を得ながら、307号の路線内においての右折だまりの設置に向けての事業も進んでいる状況です。

そして、これも過去4年間ほどの町長から直接の知事要望の成果として、湖東三山インターを下りた際に307号に接続するT字路がありますが、そこを十字路タイプの交差点化を目指し、またその先線として琵琶湖湖岸道路まで1本でつながる(仮称)湖東未来線の県道路アクションプランへの検討路線としての掲載までたどり着くことができました。県道路の事業化のためにはこのアクションプランに掲載されることがマストでありますので、大変大きな一歩であり、昨年には関係いただく彦根市と豊郷町とともに期成同盟会を、県道路部局はもとより関係市町の議会関係の方々の御臨席のもと開催させていただくことができました。土木工事を含む高い事業難度を伴う、長期にわたることが容易に想定される事業であります。これは私が町長職に就いて以来の東出の役員の方々との率直な意見交換の中でもお聞かせいただき、東出の集落内を通過する車両交通の在り方という課題にも将来的に変化をもたらす事業でもあり、多くの方々の御協力が今後も求められてまいりますので、皆様のお力添えをお願いし、たく存じておるものです。

また、身近なところでは、ハーティセンターのホールや各所の男女トイレの洋式化と心地よいトイレ空間を実現することができ、大変好評を頂いております。同時期には良好な教育環境の構築につなげるよう、秦荘中学校の長寿命化、LED化、体育館の屋根の葺き替えにも取り組んできました。令和7年度からは、湖東三山館あいしょうも町観光協会様のお力を得、食の提供をはじめ、地域の魅力発信の運営を開始いただけますので、大変ありがたいことと思っております。

そのほかにも、私自身も自然を活用した食や宿泊、バーベキュー、キャンプなどを開発されている民間事業者などへもアプローチをしておりますが、伺いますと、総じてコロナ禍の頃がピークであったアウトドアブームの反動として、現状の市場環境の困難さも率直にお教えも頂いているものです。行政が箱物発想で着手し、結果として町の重荷となる局面は避けねばなりません。森林組合の皆様のお力添えもあり、

やまびこ湧水エリアでのキッチンカーによる販売を譲り受けいただいたりもしておりますので、今後も共に力を合わせてまいります。

この間、御承知を頂いておりますように、竹原の地においては、民間開発への地元の御理解と御協力、協働のもと、梨園の跡地利用を形にされました。常安寺の地においては、当町に御縁のある西部リアリティソリューションズが全国で展開する西部の森事業に選定され、良好な管理のもと、木々と自然を守っていく取組を進めてもられます。また、斧磨の地における土地開発に伴う道路の新設と供用も始まります。これら民間のお取組に関しても、行政として共に歩ませていただいております。

また、この1年はとのお問いがありましたが、人が引き付けられるのは、地域の人々の情熱や前向きな姿勢やストーリー、それらに基づく取組であります。冒頭にも申し上げましたとおり、行政のみではない地域の住民の方々や団体の方々とともに、東部地域の在り方や心地のよさや魅力の進化に向けてのディスカッションの場となるフォーラムを令和7年度に開始をしております。

○議長（森野 隆君） 7番、上田太治君。

○7番（上田太治君） ただいま町長、随分と多くの業績を羅列していただきました。

ハーティセンターのトイレの改修、これは特に町長が東部地域を大変重要視をして行われた事業である、そうであるなら、図書館のトイレ改修は町中心部の発展に大変重要視をして公約として述べられた事業であったと。また、道路整備等についても、町内全般で行われております。私はこの中であつと思つたのは、そのほかにも私自身も自然を活用した食や宿泊、バーベキューやキャンプなどを開催されている民間業者へもアプローチをしておりますが、伺いますと、総じてコロナ禍の頃がピークであったアウトドアブームの反動として、現状の市場環境の困難さも率直にお教えいただいているものです。ここでうんとトーンダウンをしてしまうわけです。最終的に、町長の思いと伺いますか、私に伝わってきたのは、これは前回もおっしゃいました、人が引き付けられるのは地域の人々の情熱や前向きな姿勢やストーリー、それに基づく取組であります。冒頭に申し上げましたとおり、行政のみではなく、地域の住民や団体の方々とともに、東部地域の在り方や心地よさや魅力の進化を向けてディスカッションの場となるフォーラムを令和7年度に開始いたします。私はこの辺が結論かなと。地域の皆さん頑張ってくださいよ、皆さんの力ですよと。行政ではどのようなフォーラムをされるのか、後ほど詳しく、いつ頃どういうフォーラムをされるのかお尋ねし

たいと思いますけども、皆さんでお考えくださいよ、でも選挙のときには東部地域については最重点課題として振興を進めます。私はこういう政治体制かなという具合に思います。ただいま質問させてもらいましたディスカッションについての詳しい内容をお尋ねいたします。

○議長（森野 隆君） 企画政策監。

○企画政策監兼みらい創生課長事務取扱兼給付金・定額減税一体支援事業推進室長事務取扱（西川傳和君） フォーラムということで御提案をさせていただいております。これにつきましては、東部地域にお住まいの住民様であったり、また東部地域にあります企業様、またそれぞれ活躍されております団体様にお集まりいただきまして御意見を頂くというところ、また町としても構想といえますか、これまで都市計画マスタープランであったりとかランドデザインでお示しさせていただいておりますような構想の部分を提示しつつ、地域の方と行政で意見を交換して、今後の東部地域の振興策というものを検討していくというようなことを考えております。

○議長（森野 隆君） 7番、上田太治君。

○7番（上田太治君） 私は、この回答は私の質問に対する付け焼刃であると思います。何もわざわざ東部地域の人だけを集めてフォーラムをする必要はございません。町全体の中でどのようにその地域その地域、東部地域は東部地域、西部地域は西部地域、どのような発展の道があるのかというフォーラムをすることのほうが、より連携を持って成果が上がると思います。そのときさえ答えればええというような誠実でない回答は御遠慮いただきたいと思います。

それでは最後に、先般行われました2会場で開催されました議員主催の議会報告会についてお尋ねします。2会場では、用意した椅子が足りなくなり、立席で参加される方がいてくださるほどの関心の高さが伺えました。参加された方からは、厳しい意見とともに前向き、積極的な多くの声を聞かせていただき、町民の皆さんがまだ決して町政を見捨てておられないことを感じ、議員としてますます励まなければならないと力を頂いた議員は私だけではないと思います。町で行った庁舎統合の説明会のときのこと踏まえて、町長はどのように受け止められたのかお尋ねいたします。

○議長（森野 隆君） 町長。

○町長（有村国知君） 大変よい機会をお持ちになられたと存じております。準備を含め、関係になられた全ての議員の皆様に敬意を申し上げます。やはり住民の

方々も、直接議員さんの声を聞いてみたいという思いをお持ちであったと存じました。令和4年に小学校区ごとに4会場で開催した最適配置の住民説明会とは趣旨を一にするものではないのですが、やはり議会の皆様が改めて住民の皆様の前に御報告されるという機会は大変よかったと存じております。

○議長（森野 隆君） 7番、上田太治君。

○7番（上田太治君） 私も大変いい機会、初めてでありましたけども、いい機会であったし、議長にも続けてこういう機会を設けていただきたいと思います。

そこで、令和4年に行われました住民説明会の参加者が大変少なかったことについて、町長はこういう時節柄といいますか、こういう時期でございますので参加をする方は少なくとも当然といいますか、であります。町としては、無線放送でも放送したし広報でも放送したし、十分な報道をさせていただきました。参加者が少なかったのは、というようなお話でございましたけども、私はそればかりではなかったと思います。やはりあの時点では、もう行って言うてもしょうがないわと、あきらめの気持ちで参加者の少なさに表れていたんだと私は思います。町長は思われなかったでしょうけども。町長は、そのように思って、私は選挙で当選してるんだ、皆さんは無投票やったけども、支持を得て、選挙で当選してこういうように執行しているんや、手続を取ってやってるんですよといつも常々おっしゃいますけども、やはり町民に寄り添って、町民に期待される町政をしていただかなければならないと思います。そういう意味からは、我々議員は、それは言われるように、町民のパーセンテージから言えば、それはしれていますよ。でも、あれだけの町民の皆さんが来てくださるとは我々も思っておりませんでしたし、来られた町民の人も、「わあ、すごいな」とおっしゃっておられましたし、その中で積極的に建設的な、町が行った住民説明会とでは雰囲気随分違ったと私は取っております。ぜひともそういう町政を、町民に見限られないような町政を進めていただきたいということを申し添えて私の一般質問を終わります。

○議長（森野 隆君） 暫時休憩をいたします。再開を11時10分といたします。

休憩 午前10時52分

再開 午前11時10分

○議長（森野 隆君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

◇ 竹中秀夫君

○議長（森野 隆君） 12番、竹中秀夫君。

12番、竹中秀夫君。

○12番（竹中秀夫君） 12番、竹中です。一般質問を一問一答で行いますので、よろしく願いをいたします。

私は、この質問については1点に絞ってまいりました。本庁舎東側の駐車場整備について、将来構想についてであります。現在、庁舎東側駐車場については職員駐車場として利用しているが、この土地については平成24年3月末に滋賀県から土地と建物を取得したことは記憶しております。その後、令和4年度の工事において、昭和53年に建設された旧愛知川警部交番とその翌年に建設された旧警察官舎が解体されたところであります。今後における庁舎東側駐車場の利活用については、庁舎等の公共施設の最適配置によると、「町の方針として十分な駐車場が必要なことから、健診など多くの方を対象とした行事に対応する十分なスペースと良好な景観となる駐車場を新設する」とあります。また、庁舎等公共施設の最適配置に関する住民説明会の資料では、「庁舎の集約化に伴い、来庁者等の駐車場と確保のため整備を行う」とあります。現状を拝見しておりますと、職員の車両で常時満車となり、とても来庁者のスペースはなく、余裕のある駐車場とは言えないと思っております。また、平成22年11月から現在の愛知川警部交番が運用されていると記憶しておりますが、東側駐車場と隣接しており、かつちょうど急カーブ沿いに所在し、高齢者にとっては横断しにくく非常に危険な場所であると感じています。加えて、現在の警部交番裏に駐車する車両は、道路から死角にもなっております。ならば、警部交番を駐車場北側へ移設していただき、高齢者にも利用しやすい一体的な駐車場としたほうが効果的ではないかと考えております。舗装工事をするまでに全体構想を見直すべきであると考えますが、町長の見解をお聞きします。加えて、現段階における来庁者用スペース確保についてどのような考え方で計画されているのかも答弁をお願いし、私の質問においての資料といたしております。よろしく願いをいたします。

○議長（森野 隆君） 町長。

○町長（有村国知君） 令和4年度に旧警察官舎を滋賀県から取得する際に、議会全員協議会において、現在の交番の位置について移設できないかとの御意見を頂きました。当時、旧警察官舎の取得に際して滋賀県警察本部と協議する中で、本交番の移設

についても相談をしております。この交番は、滋賀県の個別施設計画（建築物）によりますと平成24年3月設置の建物であり、当時築10年の建物であったことから、移設することは考えられないとの回答でありました。こうした経緯を踏まえ、駐車場の整備については交番は移設せずに、交通安全対策に取り組みながら整備していきたいと考えております。

来庁者の方々に関しての駐車場についてお答えをいたします。御来庁いただく方々にお使いいただく駐車スペースの確保については、道路を横断いただく必要がないよう、庁舎郡と同一の敷地内に、すなわち従来からの本庁舎の前面に加えて、本庁舎南側、そして後方、また別館並びに新保健センターの後方に駐車スペースを確保しております。なお、御承知いただいておりますように、本庁舎と同様に新保健センターの前面にも、障害のある方などが優先的に駐車できる区画も確保しております。また、東側駐車場においても来庁者用駐車区画を確保してまいりたいと考えております。

○議長（森野 隆君） 12番、竹中秀夫君。

○12番（竹中秀夫君） 12番、竹中です。私が質問の中でお尋ねしておりますのは、今の答弁を求めている質問ばかりを言っておりません。私は、この計画に基づくまでに住民説明会もなされたと思います。それから、議会の全員協議会なり、いろいろな場所でも説明等々をしてきたというような町長の答弁だろうと思います。しかしながら、この駐車場の金額1億3,500万で上がってますね。起債、約1億円ですよ、起債が。それだけの大きな起債をしてまで、もっと煮詰まった話が今日までできなかったのか。議員を交えるなり、また議員は町民との対話の中でもこういうような計画を持って町はやっているんだと。その回数すら1度や2度でポンと、平成7年度、新年度に1億3,500万と。それだけを言うと、私は今の駐車場スペースが、非常にお年寄りやら、もちろん障害者なりいろいろな方々がお見えになって、役場に向けて、保健センターにしろ何にしろ、もう少し住民の安心・安全であることを考えるならば、もっと中身の濃い、お金は何ぼ使っても住民なり議員が納得するようなことであれば私は大賛成であります。しかしながら、今のこの時点ではもっと私は皆さん方の意見を十分に取り入れてやっていくのが筋ではないかなと。それも町長にとっては、先ほど私以外の議員さんにも今日までの豊富また今後の町長の考え方なりを述べておられましたが、もっと安心して町民なり皆さん方に、まちづくりはやっぱり有村町政の言うことも一理あると、議員の言うことも十分に聞きながら町民の言うことも十分に聞

きながら取り組んでおるんだと。それが今日まで、これは政策監にも言うときますよ、十分な協議等々を課長にもなされてきたか。きたというのであれば、いついつかやってきたんだというようなことも述べていただきたいし、今日まで、私が先ほどから言うように、移設の協議がなかったらばもっと議会と調整が必要でなかったかなと、これが1点。

また、なぜ10年経過した建物は移設ができないのか。安いもんですよ、1億3,500万円、ほとんど起債ですよ。この交番所なり何なりを北へ移設するのは、1,500万円もあつたら。私は専門家にも聞いて見せにも来ましたわ。安いもんですよ、町長。議員や町民の、町長の考えることは違うというようなことに取り付けようと思つたら、それくらいの全体的な構想を私はやるのではなからうかなと。ああ、南側に駐車場がある、保健センターの裏にもこれがある、こんなもん最初から分かつたあるわ。今この碎石の跡地を、杭ですら80本以上から埋まつたあんねや。もっともつと考え方によっては、補助金なり何なり取る方法ができるはずですよ。町長自らが議員なり職員に、こういうことして東京へ行くんや、県へ行くんやと、こういうことで議会とも話し合いをするんだと、もっと町にメリットのあるようなことに私は時間を費やすほうがずっとあなたの得策やと、このように思つておるが、その点についての政策監なり町長でも副町長でもいいわ、質問では名前は上げておるけれども、どなたでもええで答弁を頂きますわ。

○議長（森野 隆君） 町長。

○町長（有村国知君） 竹中議員御質問いただきました駐車場ということでございます。様々な点を今お話しになっていらっしゃいましたので、この答弁の中でそれら全てにフィットするような形でお話しできるかはちょっと何とも捉えられないところもございますけれども、今おっしゃったところでも、やっぱり大きくおっしゃったのが来庁者の安心・安全というところが大きいかなというふうには思います。その部分に関しては、よりこの庁舎郡の敷地内に住民の皆様の駐車区画をより一層多く確保できるようにということ、これは議会の皆様から類似、過年度御意見を頂いた中で、そのようなことが成就をしてきている事業でもございます。

また、いろんな補助金ということに関しましては、昨日の御質問でもございましたけれども、あくまで庁舎機能の付帯ということで、ここに合致するものはどうしても見当たらないというようなところでございます。防災の観点でどれほどのものがある

のかというところは、少し今、国のほうもその部分をより手厚くする時代でもございますので、そこも見た上でないというような判断をしておりますけれども、御意見としては大変重要な観点であるというふうには捉えておるものでございます。

また、警部交番ということでございます。これをより北側にとということはどうかということが課題意識としてお持ちなんだというふうにも思いますけれども、私が御答弁申し上げましたように、警察官舎の取得の折にも、この部分は県本部に照会をかけた上で県として移設ということは考えられないということでもございました。それに併せて、町の全協においてもこの移設ということは捉えるものではないし、原課の状況においての駐車場整備ということで考えておりますということでも御報告を申し上げてきたものでもございます。

そのようなことでございますけれども、北側にとという部分のハードルは、お金の面ということばかりでないものにもつながるなというのは率直に感じるころもでございます。昨日もちょっと御報告申し上げておりますけれども、昔のヒロセパン屋様、今のクロネコベーカー様により近いところに建物がということになりますと、死角が生じてまいるということにも一層つながるということは危惧のポイントとしてはございます。あと、昔からの景色、景観を御記憶の方々も多いと思いますけれども、旧の愛知川警察署が大変凛とした姿で荘厳たる姿で私たちの前に存在してくれてました、昭和50年代。その道路からのアプローチもあって、非常に警察という存在を感じてのことではございましたけれども、仮にそこに交番を今回移設ということになると、将来構想においても、この庁舎郡、また消防、保健センター、行政機構のところの道路の入口が警察機構ということになっていくと、結局アクセスがその一体の地において非常に難しいということにつながりかねないというのは、何となく皆様、旧の愛知川警察署を御覧になってた方々、特にそこが行政の土地として使うことではないんだということにもつながるようなのは御想像いただけるかとも思います。ですので、御意見として北側のほうにとということにプラスがあるというようなお考えであるということは今ほど御質問で承知をいたしましたけれども、それによってもたらされる後年の土地利用の難しさということと視界の部分ということが、お金の以外にテーマとしてはございますので、そういう点においては、今般まで様々な協議を重ねてきた結果としてこの駐車場の予算ということを上程申し上げておりますけれども、この事業ということをおと何か町内の皆様にもお届けをしていきたいというふうに思っておるも

のでございます。いろいろ砂埃が立つとかそういうような近隣の皆様のお声ということもあるということもお教えも頂くこともございました。やっぱり舗装されてということでのイベントもしたいというお声も大変強いお声としても拝聴もいたしております。そういう点では、町の未来に向けて大事な事業であるというふうに感じて、強く思っておるものでございますので、ぜひこの社会的な今回取り組んできた最適配置の事柄の最終の工事業でございましてけれども、町内の皆様にその便益ということもお届けをしていきたいというふうにも思うものでもございます。御質問、本当にありがとうございます。

○議長（森野 隆君） 町長、協議、話し合い、もっとできなかったという質問もあったんですけども。

○町長（有村国知君） 今ほど答弁の中でも、協議等々を重ねてまいった結果としてこのレイアウトにてということで御答弁をしたというふうに思っておったんですけども、様々に協議の会ということは今までも持たせていただいて、先ほど申し上げましたように、庁建屋の1郡に並んだところにより住民の皆様の駐車スペースを確保するということが肝要であるよということも、これもお教えいただいたものでもございますので、様々に御意見ということを今までの計画に反映をしてくれておるというふうにも感じてはおります。

○議長（森野 隆君） 12番、竹中秀夫君。

○12番（竹中秀夫君） 12番、竹中です。ちょっと町長の答弁が聞きにくかったので、私の言い方も間違っていたらこらえてほしいんですけども、私が先ほどから言うように、駐車場の構想の中で、計画の中で、今期そのようなことを示して出されてくる。なぜ先ほどから、今までももっともっと深く掘り下げた協議等々ができなかったのかということをおは声を大にして言うてらるんですよ。それというのは、私の言うのは、現在、栗田線の道路も拡幅で立派な道路になっていこうかと、また交差点改良、交差点を改良するについては今後の駐車場にも連携する構想等も描いていかなくてはならない。ただ駐車場にするというだけで来庁者は大丈夫やと、いろんなことを考えた中で私は先ほどから申し上げておるんであります。今の北側に移設を仮に、仮にですよ、決定したことを私は言うてらるんではありませんけれども、移設をすることについては、どのような今後、駐車場形態をどういうふうにして、保健センターなり本庁舎なりに住民が安心・安全に安心して町に向けて来庁できるんだというよう

なこと。いろんな構想をまた2年先には、もう2年も3年も先のことを今言うもんではありませんとは思っておりますけれども、構想の中では中央公民館も解体の予定と、どのような中身でやっていくは別として、芝にしていくとか何とか、私はいろんなこの駐車場の形態を鑑みしていきますと、あの中央公民館のところに職員の駐車場なんて造って、そこから庁舎へ向けて職員の移動なりをしていただく。以前に中学校のところの駐車場に職員の駐車場も作ったやろう、一時的ですけど預けたやろう。それは何の構想を持ってあそこへ持ったんや。ただあそこへ止めるだけが職員の駐車場やというもんじゃなかったかと思えますよ。今の北側に持っていくあの十字路の、私はクロネコ、あれはパン屋と思うてなんで、クロネコがあんなところに何しに来たんやなと思って、見たら、あれパン屋や。あの先線、先ですよ。あの道路、中学校なり幼稚園なり、その近辺の分譲住宅なり、あの道路、どういう計画で今から十数年前やってきたかいうのを、当時から職員で愛知川町の時分の職員であったら覚えておると思うが、今、世に出た、当時はあんなところに道路をこんな広いの要らんと。それでなければ村西司法書士の旧のあの細い道しかなかったんですよ。幼稚園なり中学校なり教育面にしても、世に出るということは先を読んで計画を企画会議かいろんな面でやってきたと。この駐車場、碎石を舗装で埋めて1億3,500万円、こんな無駄な金を使うもんじゃありませんよ。もっと生きた金の、私は無駄を、使ったらどうかと、生きた金ですよ。そういうところをもっと私は考えていっていただきたい。

それで、ここで交通安全対策の取組とは具体的にどのようなものであるのか答弁を頂きます。これは町長やなしに、政策監やな。課長でも、交通安全の関係、具体的にどういったものかいうのを答弁いただけますか。

○議長（森野 隆君） 建設・下水道課長。

○建設・下水道課長（羽田順行君） 交通安全対策についてでございますが、今現在、駐車場として利用しております場所から庁舎に行くのに、横断歩道等もない状況で道路横断しながら庁舎なり保健センターのほうに移動しているという状況が、ちょっと大変危なく感じているところでございます。そこにも来客者用の駐車場があるというところで、一定そうした方々にも利用のほうをお願いしている中で、その安全対策というのは早急に考えていかなければならないというふうに思っております。その中で、横断歩道の設置のほうを公安委員会等にも事前に協議していくと、ちょっと距離的な部分として既設の横断歩道が交差点にありますので、そことの距離的な関係で、

今の駐車場の出入口から庁舎のほうに向かって横断歩道が設置できないというふうに伺っておりますので、その安全対策をどうするかというところでいろいろな提案というか、そうしたところを公安委員会のほうにも事前に協議をさせていただきながら進めているところでございます。ただ、今こういう形で最終行きますというところの案の御提示にまでは至ってはおりませんが、今後、議員の皆様や、もちろん公安委員会が最終、承認というか容認いただくような安全対策をしながら、来客用なり職員の道路横断をしていくための安全対策を十分施していこうというふうに考えておりますので、そこはまた後日の委員会等でもお示ししながら進めていこうというふうな形で今、考えておりますので、そうしたところでいろいろな意見を頂きながら最終的には決めていくという流れで進めていこうというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（森野 隆君） 12番、竹中秀夫君。

○12番（竹中秀夫君） 12番、竹中です。課長が今申されたように、いろんな安全対策を公安とも話し合いながら決めていきたいんだと、これは何やいうたら、駐車場みたいなんは後やないか。安全対策も何も企画も計画もできてないのに、何でも先取り先取り、あなたが言ったことと全然合わんで、町長が答弁で申してんのは。住民はけがしてても、けがというのはこらえて、いろんなことがあっても、駐車場優先で公安委員との話も何もできてないことを、どうしてやっていくんやな、課長。あなたの答弁であったらそうやろう。何もその計画でさえできてないのに、なぜそんなにあせってあせって。もっとそういうところの、私は先ほどから言うように、いろんな面で内部協議ができてないのかなと。あなたの担当としては交通安全、恐らくあなたが答弁するだろうと私は思っておりました。案の定あなたがしましたわな。これ、とんでもないで、福祉のほうに振ったってそんなん分からん。そやけど、もっと辻褄の合うような答弁になるかなと思うて、それはならんわな。なりませんわな。そんで当たり前や。こんなもん計画のほう先走ってやな、これはまちづくりにならんわ。

それで今の言う、私の言う交通安全だけやなし、それは一番大事なことですよ。今ここに池かいな、これあんの、東か北、南側にな。あれは昔から、ここの前に噴水みたい寄付を、寄贈してくれた方がおりましたわな、愛知川町時分に。あそこで水を循環して、ここの並行水路へ持って行ってわさびを作っててん、この並行水路で。そういうような計画を持ってやってるものでも、時期とそれによっては廃止もしなくては

ならないだろう。そこも恐らく駐車場なり何なりに巻き込まんならん。あれだけを置いてく具合に行かへん。ここへ駐輪場、あんなところに駐輪場もう要りませんぞ。今、町長の答弁やいろんな計画の中であつたら。もうちょっと安心した駐輪場の造り方もできるだろう。そういった中で、交通安全の対策の関係はもう十分に、課長がそれはもうできてないことはまだこれから十分に協議していくと、もうはっきりと明確に答弁したやん。これ、こんなことでは、町長、政策監、副町長、こんなことではこの予算通らんぞな、これ。どうするんやな、あんなら。通らんなんたら、もう1年が3年が5年でもでけへんぞ。ほんで私は、中央公民館なりいろんなまちづくりの構想、あなたなりに任期中にいろんなことを、これもやりたい、これも皆さんの意見によってはやっていくんだというようなことは皆崩れていくばかりになるんですよ。

副町長、ちょっとお尋ねするけど、町長なりあなた、言葉で悪いけれど相棒や。今、テレビで相棒いうのやってるわな、あれと一緒にや。意見、副町長なりの考え方は、町長と同じ考えで愛荘町へ、県からここへ来たんかな。違うやろう。愛荘町の町を少しでも、今までの副町長何名かは派遣して来ていただいてたけれども、私が寄せてもうた限りは、有村町長を助け、有村町長の言うことも、これは駄目ですよと、私の意見としては駄目ですよ、町民ともっと議会ともいろんな話し合いをしながらやっていくのが私は妥当やと思いますよと、それぐらいは言うてますやろう。私はそう思いますよ。それすらできんなんたら、もう大津へいんでもらわなしゃあないわ。いやほんまやけな。私は何もそんな上手言わへん。そやろう。副町長よう期待をして、みんながあなたに、やっぱりまちづくりをあなたも町長と一緒に先頭を切っても、こうやということをもっと皆さんと十分に協議をしていただくということが私は大事ではなからうかなと、このように思っております。

それから、来庁者の東側の、これは町長、政策監、もうどなたでもええわ、もう。具体的にどのような計画を持って東側駐車場来庁者のスペースを考えておるのか、それをちょっと答弁いただきますわ。

○議長（森野 隆君） 町長。

○町長（有村国知君） 今の質問につながる部分としても、その前段でも様々に御発言ということ頂きました。ちょっと前段の部分になりますが、駐輪場も今、本庁舎と別館の間にきれいな広いところを造っておりますので、そちらにお止めを頂けるような状況にもなっておりますので、庁舎により近いところにございます。また、東側

の駐車場ということのより利用者の観点に立ったときの駐車区画はということでございますけれども、それはやっぱり庁舎により近いところをということで広く取れるかなというふうにも思っております。この台数に関しましては、現在もちょっとピンク色の紙を貼ったりとかして、来庁者、来館者の方にお使いを頂けるところということを出しておりますけれども、ほとんどの方が今、庁舎サイドのほうにお止めいただいているというように把握しておりますけれども、よりそのニーズが多いということなのであれば、その部分は増減できるような形での運用ということももちろんできますので、その辺りは御安心を頂ければというふうにも思っております。あと、うちの公民館のほうにも駐車場を置けばいいじゃないかということも御発言があったりとかございました。

私たち、様々に議員の皆様とこの過去4年ほど本当にいろんな御意見を考えております。いやいやここはこういうふうに見るべきや、様々に重ねてきたというふうにも思っております。そういう点では、もっともっと深く掘り下げられなかったのかというふうにもおっしゃっていただきましたけれども、いろいろなものを構築したのが原課の案でございますので、まちづくりの観点は大事やと、それは議員のおっしゃるとおりだと思いますし、それに対してそんなことはありませんというわけでは当然ないんですが、原課の案の何の部分を行政としてはより踏まえるべきだということを、よりまたその部分を具体としてお教えを今までも頂いてきてたというふうにも思っておりますけれども、ここの部分がならんやというところがいまひとつ、そこの部分を私たちがしっかりと持たせていただけると前進をいたします。

交通安全の部分に関しては、砂利の今の状況でもございますけれども、現場事務所を置くとき等々にも仮設の横断、これは実は警察のほうからはその責任の所在ということが非常に難しいことでございますということでの御指導がございましたので、ここ正規の横断歩道でということは、交通法規上どうしてもそれはならんというのが今までも出てきておりましたけれども、改めて最終の御判断としては正式にあそこに横断歩道はならんというふうにおっしゃっていただいております。これは砂利であろうと舗装であろうと変わらない部分でございますので、ちょっとその観点としては駐車場の舗装整備とは別の次元になるのかなというふうには思いながら拝聴もいたしておった次第でございます。ありがとうございます。

○議長（森野 隆君） 12番、竹中秀夫君。

○12番（竹中秀夫君） 12番、竹中です。町長の答弁を聞いておると、もういかにも住民なり議会なり、皆さん方との協議の上、重ねてきた上、努力もしてきた上、そういう中で今日に至ったんだと、こういうような答弁やと私は受け止めております。私は最初に言うてますやろう。もっともっと政策監、もっともっと十分な協議、先ほど羽田課長からも交通安全、公安のほうからもいろんな指摘事項がないように、私は来庁者のスペース等もお尋ねを今したけれども、いろんな方の交通を危惧しながら、まだそこまでは進んでないとはっきり言うたやろう、課長が。もっともっと町長との密の相談も話しながら、なぜできてないねん。できてないことをあからさまに言うてるやないか。そんなことではどうにもならんわな、町は。あなた個人の土地であれば、あなたが3,000万円使おうが5,000万円使おうが、それは自由や。共有財産の意味、投げることもできるんだから。町民の血税でありますよ。もっとまちづくりを考えた中であれば、無駄な金は使いたくないというのが町長の私は方針やと思いますよ。要るものは要りますよ、冒頭でも言うてるように。しかしながら、先ほどから聞いてると、何点か納得のいくような答弁は、私は100で例えたら90もそこらまで納得はいかんことばかりや。果たしてもう何遍も、時間がもう来ておりますので、時間いっぱいまでしようとは思ってません。果たしてこの予算を令和7年度、新年度予算を十分に町民のまちづくりに仕上げていくのか、まだこれからせんならんことがどんとあるんですよ、愛荘町。町長の任期の間にせんならんこともどんとあるんですよ。それだったら、町長の言うことやったら、おいやろうかい、やったらかい、議員からでもそういう気持ちになるように、私はやっていけば十分な住民の理解を得られると、このように思っております。

長々と私なりのことばかりをしゃべっておりますけれども、最後に、町長として駐車場はもちろんでありますけれども、今後のまちづくり、これについて、私は駐車場は反対ですよ。もうはっきり言うときますけど、町長の考えとはちょっと隔たりがあるもんで。町長の抱負をちょっと聞いて、私の一般質問を終わりたいと思います。よろしく願いをいたします。

○議長（森野 隆君） 町長。

○町長（有村国知君） 今、後段いい感じでおっしゃっていただいているなと思ながら拝聴してたんですけど、どんどんまちづくりが進むように、どうぞお力添えを賜りたいと本当に心から思っている次第でございますので、どうぞよろしく皆様お願い

を申し上げます。ありがとうございます。

○議長（森野 隆君） これで一般質問を終わります。

○議長（森野 隆君） 暫時休憩をいたします。再開を13時といたします。

休憩 午前11時55分

再開 午後 1時00分

○議長（森野 隆君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

◎同意第1号の上程、説明、採決

○議長（森野 隆君） 日程第2 同意第1号 愛荘町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについてを議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（有村国知君） それでは、同意第1号について説明させていただきます。

同意第1号議案は、愛荘町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについてでございます。

現委員の西川武士氏の任期が令和7年3月31日で満了することから、再任をお願いするもので、地方公務員法第9条の2第2項及び愛荘町公平委員会設置条例に基づき、議会の同意をお願いするものです。住所、生年月日は議案書に記載のとおりであります。

西川武士氏は町内企業に取締役として勤務され、また公正採用選考人権啓発担当として活躍されておりました。人事部門における経験が豊富であること、また人格高潔で地方自治や人事行政などに識見を有しておられ、適任と考えております。

任期は令和7年4月1日から令和11年3月31日まででございます。

何とぞ、御同意いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） 本件は、愛荘町議会申合せ事項第3条人事案件に基づき、質疑、討論を省略しますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認め、質疑、討論を省略します。

これより、同意第1号を採決します。本案を同意することに賛成の諸君の起立を求

めます。

[賛成者起立]

○議長（森野 隆君） 全員起立であります。

よって、同意第1号 愛荘町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについては、同意することに決定しました。

◎同意第2号～同意第12号の上程、説明、採決

○議長（森野 隆君） 日程第3 同意第2号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてから日程第13 同意第12号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてまでを一括議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（有村国知君） それでは、同意第2号から同意第12号までを一括して提案説明を申し上げます。

愛荘町農業委員会委員の任命に係る人事案件でございます。

愛荘町農業委員会委員の任命につきましては、平成27年の農業委員会法改正により、公選制から市町村議会の同意を得て市町村長が任命する選任制に変更されております。今回の改選選任に当たりましては、法の趣旨にのっとり、推薦公募を実施いたしました。推薦公募の情報を整理し公表いたしますとともに、その結果を尊重いたしまして、今議会に任命の同意をお願いするものでございます。任期につきましては、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間でございます。

まず議案書2ページです。同意第2号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてでございますが、次期委員に須田昇氏を任命しようとするものでございます。住所、生年月日は議案書に記載のとおりであります。

同氏は農業委員を5期務められ、その活動経験は豊富で、4期目の平成31年4月1日から令和4年3月31日までの3年間については会長職を務めていただきました。また、地元農地所有者からの信頼も厚く、耕作放棄地の未然防止解消など地域農業振興に尽力をされていることから、適任者と考えておりますので、同意をお願いするものでございます。

次に、議案書3ページです。同意第3号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意

を求めることについてでございますが、次期委員に北村正吉氏を任命しようとするものです。住所、生年月日は議案書に記載のとおりであります。

同氏は地元農業組合法人の発起人で、地域農業の中心的な役割を担われており、自らも営農組織の一員として農業経営をされておられます。また、農地の保全活動や土地改良事業に尽力され、地元の方からの信頼も厚く、現在は農業委員として1期目を務められており、経験豊富のため適任者と考えておりますので、同意をお願いするものでございます。

次に、議案書4ページです。同意第4号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてでございますが、次期委員に北川久和氏を任命しようとするものでございます。住所、生年月日は議案書に記載のとおりであります。

同氏は滋賀県職員を37年務められ、その間、八日市県事務所農産課では農地転用等の担当、農林部農政課では農振法等の担当、収用委員会事務局長、住宅課長、管理課長等、要職を歴任されました。農業委員会に関わる業務に携わられた経験があることから、地元農事組合法人からの推薦があり適任者と考えておりますので、同意をお願いするものでございます。

次に、議案書5ページです。同意第5号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてでございますが、次期委員に本田一雄氏を任命しようとするものでございます。住所、生年月日は議案書に記載のとおりであります。

同氏は地元で農業組合長や副組合長を歴任され、地域農業の振興に貢献していただいております。また、現在は農業委員として6期目を務められており、経験豊富のため適任者と考えておりますので、同意をお願いするものでございます。

次に、議案書6ページです。同意第6号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてでございますが、次期委員に村川忠一氏を任命しようとするものでございます。住所、生年月日は議案書に記載のとおりであります。

同氏は土地改良区など各種団体の役員を歴任され、現在は農業委員として2期目を務められており、経験豊富な実績がございます。また、自ら耕作に取り組みれるなど、周囲の信頼も厚く適任者と考えておりますので、同意をお願いするものでございます。

次に、議案書7ページです。同意第7号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてでございますが、次期委員に押谷多津子氏を任命しようとするものでございます。住所、生年月日は議案書に記載のとおりであります。

同氏は民生児童委員、健康推進委員や福祉推進委員などを歴任され、また東びわこ農業協同組合の総代や女性部副部長を歴任されました。今年度から東びわこ農業協同組合の経営管理委員に就任するなど、地域農業者の信望も厚く適任者と考えておりますので、同意をお願いするものでございます。

次に、議案書8ページです。同意第8号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてでございますが、次期委員に宇野幸一氏を任命しようとするものでございます。住所、生年月日は議案書に記載のとおりであります。

同氏は地元農業組合法人の理事のほか、東びわこ農業協同組合及び秦荘土地改良区の総代を務められ、地域農業の中心的な役割を担われておられます。地域農業の振興にも尽力されるなど、人望も厚く適任者と考えておりますので、同意をお願いするものでございます。

次に、議案書9ページです。同意第9号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてでございますが、次期委員に山縣俊之氏を任命しようとするものです。住所、生年月日は議案書に記載のとおりであります。

同氏は地元の農業組合長や営農組合長を歴任され、東びわこ農業協同組合の総代の2期目を務められています。また、全国農村振興リーダー研修課程を終了され、地域農業者の信望も厚く適任者と考えておりますので、同意をお願いするものでございます。

次に、議案書10ページです。同意第10号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてでございますが、次期委員に久保田九氏を任命しようとするものです。住所、生年月日は議案書に記載のとおりであります。

同氏は平成24年に農業経営を法人化し事業を拡大させる中で、耕作放棄地の解消や農地の集約化に尽力されておられます。また、県の指導農業士として、就農者の育成や地域農産物の価値向上など、先駆的な取組で地域農業をけん引し、現在は農業委員として2期目を務められており、経験豊富のため適任者と考えておりますので、同意をお願いするものでございます。

次に、議案書11ページです。同意第11号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてでございますが、次期委員に小林忠道氏を任命しようとするものでございます。住所、生年月日は議案書に記載のとおりであります。

同氏は地元農業組合長や農業組合法人の理事を務められ、地域農業の中心的な役割

を担われておられます。地域農業の振興にも尽力されるなど、人望も厚く適任者と考えておりますので、同意をお願いするものでございます。

最後に、議案書12ページです。同意第12号 愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてでございますが、次期委員に小泉勝敬氏を任命しようとするものでございます。住所、生年月日は議案書に記載のとおりであります。

同氏は農協を退職後、本格的に就農され、経営を拡大されています。地元の農業組合長として地域農地の保全や農地集積に取り組み、地域農業の振興に貢献いただいているなど、人望も厚く適任者と考えております。また、現在は農業委員として2期目を務められ、遊休農地対策や農地の集積、集約化の活動に尽力されておりますので、同意をお願いするものでございます。

以上、よろしく御審議を頂きますようお願いを申し上げます。

○議長（森野 隆君） 本案は、愛荘町議会申合せ事項第3条人事案件に基づき、質疑、討論を省略し一括して採決しますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認め、質疑討論を省略し一括して採決します。

これより、同意第2号から同意第12号を一括して採決します。本案を同意することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 全員起立であります。

よって、同意第2号から同意第12号までの愛荘町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについては、同意することに決定しました。

◎同意第13号の上程、説明、採決

○議長（森野 隆君） 日程第14 同意第13号 愛荘町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについてを議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（有村国知君） それでは、提案させていただきました同意第13号 愛荘町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについてを説明させていただきます。

この度、現委員の中村由香里氏が令和7年3月28日をもって任期が満了すること

から、新たに森野啓子氏をお願いするもので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、町長が議会の同意を得て任命することからお願いするものです。

住所、生年月日は議案書に記載のとおりでございます。

森野啓子氏は、人格が高潔で、教育に対する意識が高く、20年にわたり読み聞かせボランティアとして町内の幼稚園、小学校で幼児、児童を対象に読み聞かせを行い、子供たちの読書の推進に貢献し続けておられ、この活動を通じて子供たちに本の楽しさや読書の重要性を伝え、豊かな感性を育む手助けをしていただいています。また、学習塾を開校し、地域の子供たちの学びを支える重要な役割を果たしておられます。地域の活動にも積極的に参加しておられることから、地域社会とのつながりを大切にし、教育環境の向上に寄与されています。学校教育及び社会教育の幅広い視点での御意見が頂戴できるものと存じます。

なお、教育委員の任命については、年齢、性別、職業等に著しい偏りが生じないように配慮するとともに、現員の構成や地域性からも均衡が取れており、適任であります。

任期は令和7年3月29日から令和11年3月28日までの4年間となります。

何とぞ、御同意賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（森野 隆君） 本案は、愛荘町議会申合せ事項第3条人事案件に基づき、質疑、討論を省略しますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認め、質疑、討論を省略します。

これより、同意第13号を採決します。本案を同意することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 全員起立であります。

よって、同意第13号 愛荘町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについては、同意することに決定しました。

◎承認第1号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第15 承認第1号 令和6年度愛荘町一般会計補正予

算（第9号）の専決処分につき承認を求めることについてを議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務政策監。

○総務政策監兼会計管理者（生駒秀嘉君） それでは、議案書の14ページをお願いいたします。議案書のほうでございます。

承認第1号 令和6年度愛荘町一般会計補正予算（第9号）の専決処分につき承認を求めることについて、地方自治法第179条第1項の規定により、次のように専決処分したから、同条第3項の規定により、これを報告し承認を求めるものでございます。

それでは、説明につきましては、補正予算書専決となっているものを御覧いただきたいと思えます。1ページをお願いいたします。

令和6年度愛荘町一般会計補正予算（第9号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6,990万6,000円を追加をし、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ123億8,009万1,000円とするものでございます。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表 歳入歳出予算補正による。

繰越明許費、第2条、地方自治法第213条の第1項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費は、第2表 繰越明許費によるものでございます。

続きまして、2ページをお願いいたします。

第1表 歳入歳出予算の補正、歳入、14款国庫支出金2項国庫補助金、補正予算額を6,990万6,000円追加とするものでございます。歳入合計は同額でございます。

続きまして、3ページでございます。

歳出でございます。3款民生費1項社会福祉費、補正予算額が同額の6,990万6,000円とさせていただくものでございます。

補正後の予算額といたしまして、歳入歳出とも123億8,009万1,000円となるものでございます。

次ページをお願いいたします。

第2表 繰越明許費でございまして、今回の補正分を全て繰越しするものでござい

まして、3款民生費1項社会福祉費、事業名2つございます。まず1つ目、町民税非課税世帯給付金給付事業で6,090万6,000円の追加、説明はちょっと後になりましたけれども、これにつきましては令和6年度住民税均等割非課税世帯に対しまして3万円を給付するものでございます。その下、低所得世帯こども加算給付金給付事業で900万円の繰越しでございます。同じく、住民税均等割非課税世帯の給付加算といたしまして、18歳以下の児童1人に対しまして2万円を給付するものでございます。

あと、9ページ、10ページについては、給与費明細書となっております。

以上、説明とさせていただきます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。

初めに、反対討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより承認第1号を採決します。本案はこれを承認することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 全員起立であります。よって、承認第1号 令和6年度愛荘町一般会計補正予算（第9号）の専決処分につき承認を求めることについては、原案のとおり承認することに決定しました。

◎議案第1号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第16 議案第1号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例を議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務政策監。

○総務政策監兼会計管理者（生駒秀嘉君） それでは、議案書の15ページをお願いいたします。

議案第1号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例、上記の議案を提出するものでございます。

説明につきましては、議案説明資料の1ページをお願いいたします。

まず、条例制定の理由でございますけれども、刑法等の一部を改正する法律が令和4年6月17日に交付されまして、令和7年6月1日から施行されることになりました。法律の改正内容は、懲役及び禁錮を廃止し、これらに代えて拘禁刑を創設するもので、法律の施行に伴い関係条例の一部を改正するものです。併せて、改正対象となる条例について、所要の文言整理を行うというものでございます。

要旨でございます。

第1条といたしまして、愛荘町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正。

第2条といたしまして、愛荘町職員の給与に関する条例の一部改正。

第3条、愛荘町消防団条例の一部改正。

第4条、愛荘町非常勤消防団に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正。

第5条、愛荘町行政不服審査法施行条例の一部改正。

第6条、愛荘町個人情報保護法施行条例の一部改正。

第7条、愛荘町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正。

懲役及び禁錮を拘禁刑に改めるのは、第1条から第7条関係、上記の改正に併せて一部文言の整理を行いますのが、第2条、第3条及び第7条となっております。

次、第8条、罰則の適用等に関する経過措置。

第9条、人の資格に関する経過措置。

次ページをお願いいたします。

第10条といたしまして、愛荘町職員の給与に関する条例の一部改正に伴う経過措置となっております。

施行期日につきましては、令和7年6月1日からとなっております。

あと、3から9ページについては、新旧対照表となっております。

以上、説明とさせていただきます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第1号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 全員起立であります。よって、議案第1号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例は、原案のとおり可決されました。

◎議案第2号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第17 議案第2号 情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例を議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務政策監。

○総務政策監兼会計管理者（生駒秀嘉君） それでは、議案書の18ページをお願いいたします。

議案第2号 情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例、上記の議案を提出するものでございます。

それでは、説明資料の10ページをお願いいたします。

まず、制定の理由でございます。情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律が、令和6年6月7日に公布をされ、一部の規定を除

き、令和7年4月1日から施行されることとなりました。

同法第3条に規定する行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、番号法と言いますけれども、の一部改正に伴い、条項ずれが生じる番号法の規定を引用する条例について、引用条例のずれを整理するものでございます。

また、愛荘町議会の個人情報の保護に関する条例については、併せて文言等の整理を行うものでございます。

要旨でございます。

第1条、愛荘町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正。

第2条、愛荘町税条例の一部改正。

第3条、愛荘町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正。

第4条、愛荘町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正。

引用する番号法第2条の規定については、第8項から第15項までを1項ずつ繰り下げます。

その下、第4条については、併せて所要の文言等改正を行うものでございます。

施行日は令和7年4月1日からになってございます。

11ページから21ページについては新旧対照表となっております。

以上、説明とさせていただきます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第2号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第2号 情報通信技術の

活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例は、原案のとおり可決されました。

◎議案第3号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第18 議案第3号 愛荘町監査委員に関する条例および愛荘町下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） それでは、議案書20ページをお願いいたします。20ページでございます。

議案第3号 愛荘町監査委員に関する条例および愛荘町下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例、上記の議案を提出するものでございます。

議案説明資料22ページをお願いいたします。22ページでございます。

条例制定理由でございます。地方自治法の一部を改正する法律が、令和6年6月26日に公布され、順次、施行されています。この改正により、地方自治法に条ずれが生じることとなったため、該当箇所を引用している関係条例について、引用条項のずれを整理するものでございます。

要旨といたしまして、第1条、愛荘町監査委員に関する条例の一部改正。

第2条、愛荘町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正。この2つを上げさせていただきます。

引用する法第243条の2の8の規定について、1条繰り下げます。

施行期日でございますが、公布の日または法付則第1条第3号に掲げる規定の施行の日のいずれか遅い日でございます。

23ページは、新旧対照表でございます。

御審議いただきますよう、よろしく願いいたします。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第3号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第3号 愛荘町監査委員に関する条例および愛荘町下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

◎議案第4号の上程、説明、質疑

○議長（森野 隆君） 日程第19 議案第4号 愛荘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務政策監。

○総務政策監兼会計管理者（生駒秀嘉君） それでは、議案書の21ページをお願いいたします。

議案第4号 愛荘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例、上記の議案を提出するものでございます。

それでは、説明資料の24ページをお願いいたします。24ページでございます。

改正する理由でございます。国民健康保険制度は、平成30年度以降、都道府県が国民健康保険事業の財政運営の責任主体として、安定的な財政運営や効率的な事業運営の中心的な役割を担うこととされ、滋賀県内市町の医療給付費、後期高齢者支援金及び介護納付金等を滋賀県が支払い、県全体に交付される公費や市町からの納付金はその財源に充てられている、また県において令和9年度で県下保険料（税）水準の統一を目標とされています。

今般、令和7年度から国民健康保険税の税率について、愛荘町の国民健康保険事業の運営に関する協議会に対し諮問し、滋賀県から示された令和7年度における納付金決定額等を基に示された答申に基づき税率の改正を行うものでございます。

要旨でございます。今回の改正は、基礎課税分（医療分）の所得割税率と均等割額の引上げを行うもので、今後の滋賀県保険料（税）率統一に向けた税率の検討も踏まえ、県が示した標準保険料率に近づけた税率に見直すものとなっております。

基礎課税分（医療分）でございますけれども、まず関係条例、3条第1項、項目が所得割で、現行が6.11%を、改正後といたしまして6.56%、0.45%の引上げ。次、第5条、均等割、1人当たりでございますけれども、現行2万4,000円を2万7,000円で3,000円引き上げるもの。その下、第5条の2、平等割（1世帯当たり）ですけれども、1万8,000円、これについては据置きをさせていただきます。後期高齢者（支援分）据置き、これは改正なし、介護納付金（介護分）といたしまして、これも据置きで改正なしとなっております。

第21条（国民健康保険税の軽減）となっております。改正内容、第1項（7・5・2割軽減）及び第2項（未就学児の軽減）の額を変更するもので、まず基礎課税分の医療分の軽減する額の中で、7割軽減といたしまして、関係条例第1項第1号ア、項目が均等割（1人当たり）、これについてはもう全てですのでよろしく申し上げます。現行を1万6,800円を1万8,900円の8,100円、その下、第2項第1号ア、現行3,600円を4,050円。

次、25ページの上段からでございます。5割軽減、第1項第2号ア、1万2,000円を1万3,500円に、第2項第1号イを、6,000円から6,750円に、2割軽減といたしまして、第1項第3号アについては、4,800円から5,400円に、第2項第1号ウについては、9,600円から1万800円、軽減なしについては、第2項第1号エといたしまして、1万2,000円から1万3,500円と改正するものがございます。

改正付則関係で、施行期日でございますけれども、この条例は令和7年4月1日から施行するもので、適用区分につきましては、改正後の新条例の規定は令和7年度以降の年度分の国民健康保険税について適用し、令和6年度までの国民健康保険税については、なお従前の例によるとなっております。

26ページから28ページについては、新旧対照表となっております。

よろしく願いをいたします。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

13番、辰己 保君。

○13番(辰己 保君) 13番、辰己。1つだけ伺っておきます。説明理由の中で、県が示した標準保険料率に近づけた税率に見直すということになっているわけですが、標準保険料率が、県の示す、それが100としたら、この引上げで何%になるのか聞いておきます。

○議長(森野 隆君) 税務課長。

○税務課長(藤澤雅史君) 今回、標準保険料率を100としますと、今回の引上げ幅としましては、およそ4.6%分の引上げとなります。

○議長(森野 隆君) もう一度、マイクを通してお願いいたします。

13番、辰己 保君。

○13番(辰己 保君) 今聞いているのは、県が示す標準料率、税率ね。県が示すねやで、これが100としたときに、この引上げはこの100に対してどの到達点に来るんですかということを聞いているわけ。だから、税務が答えられるのか住民課が答えなアカんのかということになるわけや。

○議長(森野 隆君) 税務課長。

○税務課長(藤澤雅史君) 税収として考えますと、標準保険料率を100とした場合にどこまで近づいてるかということになると、およそ30%ぐらいになると考えます。

○議長(森野 隆君) ほかに質疑はありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長(森野 隆君) これで質疑を終わります。

お諮りします。愛荘町議会会議規則第39条第1項の規定により、議案第4号 愛荘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を教育民生常任委員会に付託したいと思います。これに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長(森野 隆君) 異議なしと認めます。よって、議案第4号 愛荘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を、教育民生常任委員会に付託することに決定しました。

◎議案第5号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長(森野 隆君) 日程第20 議案第5号 愛荘町非常勤消防団員に係る退職

報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例を議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

企画政策監。

○企画政策監兼みらい創生課長事務取扱兼給付金・定額減税一体支援事業推進室長事務

取扱（西川傳和君） それでは、議案第5号 愛荘町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について、議案書22ページをお願いいたします。

議案第5号 愛荘町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例、上記を議案として提出するものでございます。

説明資料33ページを御覧ください。本件は、愛荘町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正するものでございます。

改正の理由といたしましては、非常勤消防団員の処遇改善を図るため、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政令が、令和6年12月27日に公布され、令和7年4月1日から施行されることに伴い、所要の改正を行うものでございます。

改正の要旨については、非常勤消防団員の処遇改善を図るため、町が非常勤消防団員として5年以上勤務して退職した者に支払う消防団員退職報償金の勤務年数区分に新たに35年以上の区分を追加するものです。

施行期日は令和7年4月1日からの適用です。

御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第5号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第5号 愛荘町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

◎議案第6号の上程、説明、質疑

○議長（森野 隆君） 日程第21 議案第6号 愛荘町健康診査負担金徴収条例の一部を改正する条例を議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） それでは、議案書の24ページをお開きください。

議案第6号 愛荘町健康診査負担金徴収条例の一部を改正する条例、上記の議案を提出するものです。

それでは、議案説明書の35ページをお開きください。

改正の理由でございます。令和7年度より、生活習慣病健康診査並びに肝炎ウイルス検査の医療機関における個別健診を開始することから、所要の改正を行うものです。

条例の要旨でございます。新たに医療機関における生活習慣病健康診査並びに肝炎ウイルス検査の個別健診を開始することから、負担金の徴収について文言を改正するものでございます。

施行期日につきましては、令和7年4月1日から施行するものです。

36ページにつきましては、新旧対照表となっております。

以上、説明とさせていただきます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 全員協議会で配っていただきました負担金の表がありますけれども、その中で肝炎ウイルス検査だけが金額のほう変わっております。それで、ちょっとそれについて、変化しているので説明を求めたいと思います。

○議長（森野 隆君） 福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木

村美紀君 前回の全員協議会資料の中でお示しさせていただきましたとおり、個別健診、そして集団健診共に同じ金額で受けれるような体制を取らせていただいております。よって、生活習慣病健診の集団健診についても500円、生活習慣病健診の個別健診についても500円、肝炎ウイルス検査についてもそれぞれ1,000円ということで、申し訳ございません。資料のほうの訂正をお願いします。肝炎ウイルスにつきましては、そのときの資料は1,000円となっておりますが、共に300円でございます。全員協議会のときの資料の誤りです。申し訳ございません。300円でございます。

○議長（森野 隆君） 11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 11番、瀧です。ですから、確認ですけれども、7年度からの肝炎ウイルス検査は1,000円でなくて300円だったということで、これが記入間違いということですか。分かりました。同じいうことですね。

○議長（森野 隆君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） これで質疑を終わります。

お諮りします。愛荘町議会会議規則第39条第1項の規定により、議案第6号 愛荘町健康診査負担金徴収条例の一部を改正する条例を教育民生常任委員会に付託したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、議案第6号 愛荘町健康診査負担金徴収条例の一部を改正する条例を教育民生常任委員会に付託することに決定しました。

◎議案第7号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第22 議案第7号 愛荘町学童保育所の設置および管理に関する条例の全部改正についてを議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（村美紀君） それでは、議案書の25ページをお開きください。

議案第7号 愛荘町学童保育所の設置および管理に関する条例の全部改正について、上記の議案を提出いたします。

それでは、議案説明資料の37ページをお開きください。

改正理由でございます。指定管理により運営している町内学童保育所について、小学校の休業日における開館時間を条例で午前7時45分と定めているところですが、現状、利用者からの要望等により、指定管理者は午前7時30分に開館していただいております。そのため、小学校休業日の開館時間を現状に合わせて午前7時30分に改正するとともに、新たに愛荘町スポーツ学童保育所を追加するものです。

また、現行の運用に合わせるため、文言等その内容を全面的に改正するものでございます。

条例の要旨でございます。改正条例は第1条から第13条までの条立てとなっており、第2条でスポーツ学童保育所を追加を、第5条で学校休業日の開館時間を変更しております。その他、細かな言い回しや現行の運用に合っていない部分を全面的に改正するため、条例の全部改正とさせていただきます。

施行期日については、令和7年4月1日から施行するものです。

以上、説明とさせていただきます。御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第7号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第7号 愛荘町学童保育所の設置および管理に関する条例の全部改正については、原案のとおり可決されました。

◎議案第8号の上程、説明、質疑

○議長（森野 隆君） 日程第23 議案第8号 愛荘町こども家庭センター設置条例を議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） それでは、議案書の30ページをお開きください。

議案第8号 愛荘町こども家庭センター設置条例、上記の議案を提出するものです。

それでは、議案説明書の38ページをお開きください。

制定の理由でございます。児童福祉法等の一部を改正する法律の施行により、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の設立の意義や、現行の機能を維持した上で、全ての妊産婦、子育て世帯、子供を対象とした包括的な相談窓口として、愛荘町こども家庭センターを設置するため条例を制定するものです。

なお、健康推進課にあります子育て世代包括支援センターと子ども支援課内にあります子ども家庭総合支援拠点につきましては廃止といたします。

条例の要旨でございます。第1条、設置。2条、名称及び位置。第3条、業務。第4条、職員。第5条、委任という条立てとなっております。

施行期日については、令和7年4月1日からとするものです。

以上、説明とさせていただきます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。愛荘町議会会議規則第39条第1項の規定により、議案第8号 愛荘町こども家庭センター設置条例を教育民生常任委員会に付託したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、議案第8号 愛荘町こども家庭センター設置条例を教育民生常任委員会に付託することに決定しました。

◎議案第9号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第24 議案第9号 令和6年度愛荘町一般会計補正予算（第10号）を議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務政策監。

○総務政策監兼会計管理者（生駒秀嘉君） それでは、補正予算書のほうをお願いいたします。1ページでございます。

令和6年度愛荘町一般会計補正予算（第10号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億2,227万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ122億5,781万6,000円とするものでございます。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表 歳入歳出予算補正によるものでございます。

繰越明許費、第2条、地方自治法第213条第1項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費は、第2表 繰越明許費による。

債務負担行為の補正、第3条、債務負担行為の追加は、第3表 債務負担行為補正による。

地方債の補正、第4条、地方債の追加変更は、第4表 地方債補正による。

上記の議案を提出するものでございます。

それでは、2ページをお願いいたします。

第1表の歳入歳出の補正予算でございますけれども、今回の3月補正につきましては、歳入歳出とも事業等の実績見込みによる減額が主な理由となっております。特に歳入の実績見込みの主な理由につきましては、税や料などの徴収の実績、交付金では県全体の収入決算見込みによるもので、国・県補助金については交付決定等による増減、各種負担金や使用料なども実績見込みによる増減が主な理由でございます。歳出の実績見込みの主な理由につきましては、会計年度任用職員の採用実績または雇用実績、それによる増減、報償費や手数料や需用費などについては事業を進めていく中での執行残、委託料や工事費等については入札執行残によるものでございます。あと、補助金、負担金については精算による減というものが主な理由になっておりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、第1表 歳入のほうから御説明をさせていただきます。

1 款町税1 項町民税、補正予算額が2 億8,301 万6,000 円の追加。2 項固定資産税が1,560 万円の追加。3 項軽自動車税が321 万2,000 円の追加。4 項町たばこ税が520 万円の減。

次、2 款地方譲与税で1 項地方揮発油譲与税で117 万2,000 円の減。2 項で自動車重量譲与税で463 万1,000 円の減。

その下、3 款利子割交付金で1 項利子割交付金122 万円の追加。

4 款が配当割交付金で1 項配当割交付金320 万7,000 円の追加。

5 款株式等譲与所得割交付金1 項同じく1,357 万6,000 円の追加。

次、6 款法人事業税交付金1 項同じく604 万8,000 円の追加。

7 款地方消費税交付金1 項同じく3,100 万5,000 円の追加。

8 款環境性能割交付金1 項同じく53 万8,000 円の減。

次、9 款地方特別交付金1 項同じく補正予算額が2,928 万7,000 円の追加。

10 款地方交付税1 項同じく1 億2,989 万9,000 円の追加。

11 款交通安全対策特別交付金1 項同じく8 万4,000 円の減。

12 款分担金及び負担金2 項の負担金で113 万7,000 円の減額。

13 款使用料及び手数料1 項使用料で5,000 円の追加。

14 款国庫支出金1 項国庫負担金で1,639 万4,000 円の追加。2 項国庫補助金で1 億6,198 万4,000 円の減額。

15 款県支出金1 項県負担金で84 万8,000 円の追加。2 項県補助金で2,219 万7,000 円の減額。3 項委託金といたしまして、427 万2,000 円の減額。

16 款財産収入で1 項財産運用収入326 万7,000 円の追加。2 項で財産売払収入で295 万2,000 円の追加。

17 款寄付金1 項同じく4,009 万9,000 円の追加。

4 ページをお願いいたします。18 款繰入金で1 項特別会計繰入金で130 万5,000 円の追加。2 項基金繰入金で6 億668 万7,000 円の減額。

20 款諸収入で1 項延滞金加算金及び過料で104 万9,000 円の追加。3 項貸付金元利収入で99 万2,000 円の減額。4 項受託事業収入で404 万2,000 円の追加。5 項雑入で1,591 万2,000 円の減額。

21 款町債1 項同じく1 億1,650 万円の追加ということで、歳入合計で1 億2,

2 2 7 万 5, 0 0 0 円の減額となっております。

続きまして 5 ページでございます。歳出でございます。

2 款総務費 1 項総務管理費で 2 億 1 9 2 万 8, 0 0 0 円の減額。2 項徴税費で 1, 1 9 0 万 5, 0 0 0 円の減額。3 項戸籍住民基本台帳費で 1 2 万 7, 0 0 0 円の減。4 項選挙費で 6 5 6 万 7, 0 0 0 円の減額。5 項統計調査費で 7 0 万 6, 0 0 0 円の減額。

3 款民生費 1 項社会福祉費で 3, 5 2 4 万 6, 0 0 0 円の減額。2 項児童福祉費で 3 4 7 万円の追加。

4 款衛生費 1 項保健衛生費で 1, 4 8 6 万 7, 0 0 0 円の減。

5 款労働費 1 項労働諸費で 4 万円の減額。

6 款農林水産業費 1 項農業費で 6 2 0 万 4, 0 0 0 円の減。2 項林業費で、これはゼロということで財源補正となっております。

7 款商工費 1 項商工費で 4 1 5 万 8, 0 0 0 円の減。

8 款土木費 1 項土木管理費で 7 2 万 2, 0 0 0 円の減。2 項道路橋梁費で 1 億 1, 0 6 7 万 7, 0 0 0 円の減。

次、6 ページをお願いいたします。3 項河川費で 2 6 0 万 8, 0 0 0 円の減。4 項都市計画費で 6 4 0 万 5, 0 0 0 円の追加。5 項住宅費で 1, 3 7 8 万 7, 0 0 0 円の減。

9 款 1 項消防費で 2 5 0 万 5, 0 0 0 円の減。

1 0 款教育費 1 項教育総務費で 2 億 3, 1 0 7 万 4, 0 0 0 円の追加。2 項小学校費で 2 2 1 万 5, 0 0 0 円の減。3 項中学校費で 3 2 6 万 9, 0 0 0 円の減。4 項幼稚園費で 1, 0 1 6 万 6, 0 0 0 円の減。5 項社会教育費で 1, 6 7 1 万 2, 0 0 0 円の減。6 項保健体育費で 3 9 万円の減。

1 2 款公債費 1 項公債費 2 3 0 万円の減。

1 3 款諸支出金 2 項基金費 8, 3 8 7 万 5, 0 0 0 円の追加。歳出合計で 1 億 2, 2 2 7 万 5, 0 0 0 円の減額となり、補正後の予算額といたしまして 1 2 2 億 5, 7 8 1 万 6, 0 0 0 円となるものでございます。

続きまして、7 ページをお願いいたします。

第 2 表の繰越明許費でございます。

2 款総務費 1 項総務管理費で、事業名が地域公共交通活性化事業で 2, 3 2 6 万 4, 0 0 0 円の繰越し。

3 款民生費 2 項児童福祉費で出産・子育て応援交付金事業で 5 3 万 9, 0 0 0 円の繰

越し。

6款農林水産業費といたしまして、1項農業費、2つございまして、土地改良施設整備事業で379万3,000円の繰越し、西部地域土地改良事業で1,524万円の繰越し。

8款土木費2項道路橋梁費でございまして、8つございます。町道愛知川栗田線道路改良事業で愛知川工区で4,000万円の繰越し。町道名神国八線道路改良事業で3,000万円の繰越し。町道栗田市線待避所整備事業で650万円の繰越し。町道スポーツセンター中央線道路改良事業で4,700万円の繰越し。町道愛知川栗田線交差点改良予備設計事業で2,000万円の繰越し。町道長野野良田線用地測量事業で2,000万円の繰越し。町道橋梁維持補修事業で、多賀橋ほかで3,450万の繰越し。町道橋梁維持修繕事業で、新川久保橋のほか2,400万円の繰越し。3項河川費で町道神郷彦根線道路整備に伴う普通河川改修事業で947万3,000円の繰越し。5項住宅費で、小集落地区改良事業で66万円の繰越し。

10款教育費1項教育総務費で学校教育施設改修事業で2億4,153万円の繰越しとなっております。

次、8ページ、第3表 債務負担行為の補正となっております。

1、追加事項といたしまして、愛知川東小学校長寿命化改良事業で、期間が令和7年度から令和8年度、限度額が3億390万2,000円とさせていただくものでございます。

続きまして、9ページでございます。第4表の地方債の補正ということで、まず1番、追加となっております。起債の目的でございます。防災・減災国土強靱化緊急対策事業債（道路）ということで60万円、その下、防災・減災国土強靱化緊急対策事業債（農業水利）で1,400万円、合計1,460万円となっております。

起債の方法、利率、償還の方法については変更ございません。

続きまして、10ページでございます。第4表 地方債の補正で、次は2といたしまして、変更した部分でございます。

上段から、起債の目的、公共事業等債で、補正後の額だけ言わせていただきます。3億1,300万円、その下、一般補助施設整備等事業債で2,390万円、地方道路等整備事業債で4億1,250万円、学校教育施設等整備事業債で2億1,470万円となっております。合計、補正前が12億4,293万2,000円を、補正後と

いたしまして13億4,483万2,000円とするものでございます。

あと、50ページから53ページにかけましては、給与費明細書となっておりますので、御確認よろしくお願ひいたします。

以上、説明とさせていただきます。御審議よろしくお願ひをいたします。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

13番、辰己 保君。

○13番（辰己 保君） 13番、辰己。二、三点だけ聞いておきます。

1つは、町営住宅の使用料について減額されているので、その要因ですね。概要書で5ページになります。まずこれが1つです。

そして、概要の27ページに障害児保育、子ども支援課になるんです。よろしいですか。障害児保育事業費補助金の執行残で250万円出てるんです。対象人員が減ったということにもなるんだと思うんです。その対象という、人員が減った要因に、この保育所がどこに設置されているのかとか、そういう距離によっては断念されるかなというところで質疑をしています。ですから、保育所がどこに設置されていて、全体としては対象人員が減っているだけなのか、それがちょっと読み取れませんので聞いています。

そして、これは予算上は出てこないんです。たしか、出てこないと思います。教育委員会に聞きます。来年度からは中止するというふうに聞いております。要するに、教育委員会に所管する幼稚園、小学校、中学校における修学旅行費などになるのかな、そういうものが学校が徴収するものに対して銀行引き落としをするというのが去年の3月に通知がされたということで、保護者負担だけなんで予算上は出こないと思うんですよね。結局は、1年間ずっとこれをやられたのかどうか、予算上。要するに執行されたのかどうかの確認がしたいわけです。7年度はもう中止するというので通知がされてるので、その確認をさせていただきます。

○議長（森野 隆君） 建設・下水道課長。

○建設・下水道課長（羽田順行君） 町営住宅の使用料の減額についての理由でございます。町営住宅は50戸ありまして、政策的空き家が1件ということで、49件の入居いただくような形で、今、入居いただいている中で、実際その年度の途中で入退去がございますので、退去された後、募集するまでに、部屋の改装であったりとかそういういったもので、やはり二、三か月、募集期間も含めてちょっと空きが出ますので、

その分の家賃の収入が見込めないというところと、あと実際に使用料の納付は頂いているんですが、生活の実態に即した生活保護等の方もおられますので、分納でお支払いしていただいたりとかいうところで、実際に当初見込んでおりました使用料よりもちょっと入ってきている使用料が低いというところで、その分をちょっと減額させていただいたという理由となっております。

以上でございます。

○議長（森野 隆君） 子ども支援課長。

○子ども支援課長（増居志穂君） 今、御質問ございました障害児の保育事業費の補助金の執行残ということで、250万円の減額ということなんですけれども、こちら当初予算では前年の実績において250万円の予算を積算させていただいておるんですけれども、年度当初7月頃に加配に係る審査会を開いておりまして、今年度加配を必要とする対象のお子さんがその園に対して何人であるかという判定の会議を開かせていただいております。その結果によりまして、1人の250万円の人件費の分が減額というような形になっておりますので、実績に基づいて減額をさせていただいたものでございます。

以上です。

○議長（森野 隆君） 教育次長。

○教育次長兼教育振興課長事務取扱（陌間秀介君） 御質問ございました徴収金の手数料の関係でございますけれども、議員のほうがおっしゃっていただきますように、次年度からは公費ということでさせていただくということになっております。今年度につきましては、年度当初にそれぞれ負担をお願いするということでしたので、今年度についてはそのままにさせていただいたというようところでございます。

以上です。

○議長（森野 隆君） 13番、辰己 保君。

○13番（辰己 保君） 13番。今年度は執行した、来年度は中止する。じゃあ、今年度のその徴収は正当なのかどうかということになってくるわけですよ。ここは徴収してないんだけど、要するに自動的に銀行手数料を払わざるを得ない行為が、学校教育上にそれが正当であれば仕方がないんだけど、正当とみなさなかつたら返還しなきゃならないだろうということを僕は思ってるわけですよ。要するに、教材費に対して

上乘せかけて負担を求めてるわけでしょう、教育事業に。ですから、じゃあ何で来年やめるのというふうになるわけで、何らかの理由があって中止されるんだろうし、その手数料はどうなるんだと、引き落とし手数料は。町が負担してあげてくれるんですかということになるわけで、じゃあ町が負担するんだったら今年度も町が負担しなさいよということにつながるだけのことで、そこを確認してるんです。

○議長（森野 隆君） 教育長。

○教育長（徳田 寿君） その徴収金に係る手数料を、これまでの質問の中でも議員のほうからは、教育委員会の都合で負担を求めてたんじゃないかというような、そういう御主張であったというふうに思いますけれども、その際にも申し上げておりましたけれども、これは保護者の利便性の向上も図るというようなこともございましたので、一方的にそれは教育行政が負担を強いてるというふうなことではないというふうに捉えておりました。じゃあ、なぜ次年度からということですけども、それは今般の物価高騰等いろんなことがございますので、その部分の保護者負担の一部の軽減を図るということでございます。

○議長（森野 隆君） 13番、辰己 保君。

○13番（辰己 保君） じゃあ、7年度はもう町が負担するという解釈でいいんですか、手数料は。

○議長（森野 隆君） 教育長。

○教育長（徳田 寿君） そのような解釈で結構でございます。

○議長（森野 隆君） ほかに質疑はありませんか。

11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 11番、瀧です。29ページなんですけども、予防接種事業ということで373万9,000円の執行残などが出てますけれども、この今まで無料だったものが6年度からは有料となったということがあるわけなんですけれども、その接種者の動向について説明を求めたいと思います。

○議長（森野 隆君） 福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） お答えいたします。

予防接種、答弁にもさせていただきましたけれども、疾病1類の予防接種につきましてはおおむね100%の接種率になっております。B類といわれます高齢者のイン

フルエンザ、肺炎球菌、今年度は個人負担金をお願いしましたが、新型コロナウイルス感染症の予防接種についてはそれぞれ接種率が異なっております。特にインフルエンザについてはおおむね70%以上の接種率でしたが、同じぐらいの接種率を見越して予算額をしておりましたが、新型コロナウイルスにつきましては6割程度の接種だったと記憶しております。その残になっております。

以上です。

○議長（森野 隆君） ほかに質疑はありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（森野 隆君） これで質疑を終わります。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。

13番、辰己 保君。

○13番（辰己 保君） 13番、辰己。議案第9号 一般会計補正予算（第10号）に対して反対を行います。

まず、財政調整基金の繰戻しが6億418万7,000円と補正されています。財調の令和4年度残高は22億7,749万7,000円、令和5年度残高は20億7,787万9,000円、令和6年度当初見込みでは7億7,000万円の財調基金を財源充当する予算案でした。令和6年度当初予算は、令和5年度の決算が確定していない段階なので、令和5年度末残高を17億7,000万円とし、令和6年度基金取崩しを7億7,000万円と予算計上し、令和6年度末決算の基金残高を10億円と計上しています。これは、あくまでも当初予算の関係です。6月議会補正第2号で2,624万3,000円を財源充当し8億7,470万9,000円としています。補正3号では966万円を財源充当し8億8,436万9,000円、補正4号では同じく8億810万2,000円で、補正5号で8億818万8,000円、7号では9億2,123万9,000円、8号10億196万6,000円と財源充当がされてきています。その中で補正10号で6億418万7,000円の繰戻しで3億9,777万9,000円ということで基金充当をしているということになっています。

こうした令和6年度の一般会計の財源充当を見ても、結果として6億円が歳入歳出合計の余剰金が出ているということを示しています。財調の多額の充当は、当然、国・県の交付金、または補助金の充当が見込めないというものになるわけです。逆に言えば、そうした事業が多いと、今年度の事業が、ということが考察できると考えま

す。今後は、国・県の補助金事業にできるだけ乗るように努力をしていただいて、財源確保に努めていただくということを望みます。

こうした状況の中で、やはり町単独事業がかなり進められていると、単独という言葉は補助金の出にくいとか、そういう事業が進められているという中において、私はやはりこうした気候現象の状況の中で、秦川山の整備というものにもっと注視、注力をしていかなければならないということを強く思うわけです。やはり、森林は農業の支援も同じなんだという観点でこの場を持って提案をしておきます。こうした注視によって行政を進めていただきたいということを強く望みます。

また、僅か100万円の財源が支出されれば、幼・小・中の教育教材費等の銀行の手数料は必要ありません。また、未就学児の国保税負担、これもなくすることができるわけです。このように、町民の要望にもっともっと向き合うこと、この政治姿勢を強く求め、同時に向き合わないことに対して批判を申し上げて、反対討論とします。

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） ほかに討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） これで討論を終わります。

これより議案第9号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立多数です。よって、議案第9号 令和6年度愛荘町一般会計補正予算（第10号）は、原案のとおり可決されました。

◎議案第10号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第25 議案第10号 令和6年度愛荘町土地取得造成事業特別会計補正予算（第1号）を議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

企画政策監。

○企画政策監兼みらい創生課長事務取扱兼給付金・定額減税一体支援事業推進室長事務取扱（西川傳和君） それでは、議案第10号 令和6年度愛荘町土地取得造成事

業特別会計補正予算（第1号）について御説明させていただきます。

補正予算書54ページをお開きください。

令和6年度愛荘町土地取得造成事業特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ130万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ130万7,000円とするものでございます。

第1条、第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正予算の歳入歳出予算の金額は、第1表 歳入歳出予算補正による。

次に、55ページをお願いいたします。

歳入、1款財産収入1項財産売払収入におきまして、補正予算額130万5,000円の追加で、補正後予算は130万6,000円でございます。

歳入合計といたしましては、補正前予算額2,000円に補正予算額130万5,000円を追加し、補正後予算は130万7,000円でございます。

続いて、56ページをお願いいたします。

歳出でございます。3款諸支出金1項繰出金におきまして、補正予算額130万5,000円を追加し、補正後予算額は130万7,000円でございます。

歳出合計といたしまして、補正前予算額2,000円に補正予算額130万5,000円を追加し、補正後予算額は130万7,000円でございます。

次の57ページから60ページまでが事項別明細書でございます。

以上、令和6年度愛荘町土地取得造成事業特別会計補正予算の御説明とさせていただきます。

御審議賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第10号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第10号 令和6年度愛荘町土地取得造成事業特別会計補正予算（第1号）は、原案のとおり可決されました。

◎議案第11号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第26 議案第11号 令和6年度愛荘町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。

福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） 令和6年度愛荘町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）について御説明させていただきます。議案書の61ページをお開きください。

議案第11号 令和6年度愛荘町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによるものでございます。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,841万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ20億597万8,000円とするものです。

2項、歳出歳入予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表 歳入歳出予算補正によるものです。

上記の議案を提出いたします。

今回の補正予算につきましては、令和6年度末を控え、歳入歳出決算見込みを実施し査定した結果を予算措置しようとするため、補正をお願いするものでございます。

それでは、62ページをお開きください。

歳入の部でございます。1款国民健康保険税1項国民健康保険税620万円の追加。

7款県支出金1項県補助金573万8,000円の減額。

9款財産収入1項財産運用収入11万円の追加。

10款繰入金1項他会計繰入金78万3,000円の減額。

1 1 款繰越金 1 項繰越金 1, 7 8 5 万 9, 0 0 0 円の追加。

1 2 款諸収入 1 項加算金及び過料 8 0 万円を減額し、歳入合計、補正前予算額 1 9 億 8, 7 5 6 万 4, 0 0 0 円に補正予算額 1, 8 4 1 万 4, 0 0 0 円を追加し、補正後予算額 2 0 億 5 9 7 万 8, 0 0 0 円とするものです。

次のページ、6 3 ページをお願いいたします。

歳出の部でございます。1 款総務費 1 項総務管理費 1 9 万 1, 0 0 0 円の減額。その下、2 項徴税費 1 4 万 6, 0 0 0 円の減額。

3 款国民健康保険事業費納付金 1 項医療給付費分、財源内訳を変更するものです。

8 款保健事業費 1 項保健事業費 1 8 8 万 9, 0 0 0 円の減額。その下、2 項特定健康診査等事業費 4 5 0 万円の減額。

1 0 款諸支出金 2 項基金積立金 2, 5 1 4 万円を追加し、歳出合計、補正前予算額 1 9 億 8, 7 5 6 万 4, 0 0 0 円に補正予算額 1, 8 4 1 万 4, 0 0 0 円を追加し、補正後予算額 2 0 億 5 9 7 万 8, 0 0 0 円とするものです。

6 4 ページから 6 9 ページは歳入歳出予算補正事項別明細書となっております。

以上、令和 6 年度愛荘町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 5 号）についての説明とさせていただきます。御審議賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

1 3 番、辰己 保君。

○1 3 番（辰己 保君） 1 3 番、辰己です。6 6 ページの保険給付費等交付金です。

5 7 3 万 8, 0 0 0 円減額なんです。この説明書きには保険者努力支援分、僅かであっても減額になってるんです。あと、県や特定健診等々、こういうような物によっては見込み違いになるし、都道府県繰入金についても対象と。私は僅かであろうと、どうであるかいうのを聞きたいんですが、今年度令和 6 年度は国保税は医療分含めて上げています。そういう保険者努力はされています。また、この 1 0 号補正を見ても、財政調整基金も 2, 5 1 4 万円積み増しをしています。これでも保険者努力をされてるといふふうにみなせるわけですが、この点で保険者努力が減額されるということについてはちょっと理解がしにくいということを申し上げて、なぜなのかを答弁を頂きたいと思います。

そして、今言いましたように、国保税医療分を昨年 4 月 1 日から税の見直しで引き上げているわけです。これによって税収がどれだけ見込めたのかと。ここの補正で

は620万が計上されているわけですが、実質どんだけ見込めたのかということ。単純に私は、当初予算の見込みからどうのこうの補正をかけてのことを言ってるわけじゃないなくて、4月1日に見直しをしたことによってどんだけの増収を見込んでたのかということが、どちらかと言えば聞きたいわけです。

それで次に、本町は先ほども言いましたように、2,514万円を基金繰入れをしていると10号でそう示しているわけですから、結果として我が町の医療費、そうしたものが私は良好だと読んでるんです。じゃあ、県の統一に向けて問題にされてくるのが、県下の市町の医療費格差がどうであるかということなんです、統一に向けて。これは、要するに連合でどういう説明がされているのかいうところを聞きたいわけです。要するに、こんだけ本町は今言ったように努力をしている。努力をしているけど、なおかつ医療費格差があるのかどうか。じゃあ、県下市町の医療格差はどうなっているのかというのは説明はされてると思うので、その点をお聞かせ願いたいと思います。

○議長（森野 隆君） 住民課長。

○住民課長（楠 真二君） まず1点目につきまして、県支出金の573万8,000円の減額についての詳細につきましては、まず保険者努力支援分、こちらのほうは具体的には生活習慣病の予防など医療費を抑制するために、抑制した事業に対して市町に対してインセンティブ分として県から交付されるものということでございます。議員おっしゃっていただいている税収を上げるとか、そちらのほうについては制度的に反映がされないといったもので、厳密的にはこの保険者努力支援分については8万6,000円の減額となっております。

2つ目の都道府県繰入金、県2号分でございます。こちらのほうは固定経費、あと医療費の水準、保健事業など、財政の健全化の取組に対して2号が県から交付されているということで、こちらが462万円の減額と、実績に伴うものですけども、あと特定健診の負担金につきましては、特定健診に係る事業経費として特定健診の負担金が特別交付金として毎年交付されるものということで103万2,000円の減額という形で、これも繰り返しになるんですけども、実績に伴うものということで、県から決定を頂いている金額で補正をかけているものでございます。

3番目のほうは、少し時間、税務課長のあとにしゃべらせていただきます。少しお待ちください。

○議長（森野 隆君） 税務課長。

○**税務課長（藤澤雅史君）** 令和6年度に国保税率の改正をさせていただいたその引上げ分についての増収の見込みですけれども、6年当初ではおよそ900万円から1,000万円ぐらいの増収を見込んでいたと。

○**議長（森野 隆君）** よろしいですか。

○**議長（森野 隆君）** 暫時休憩いたします。再開を3時、15時といたします。

休憩 午後2時42分

再開 午後3時00分

○**議長（森野 隆君）** 休憩前に引き続き会議を開きます。

○**議長（森野 隆君）** それでは、住民課長、答弁からお願いします。

住民課長。

○**住民課長（楠 真二君）** 辰己議員からいただきました3つ目の御質問につきまして御答弁させていただきます。

直近の医療費の動向でございます。昨日、県のほうから提示されました5年度の精算分につきましての医療費ですけれども、愛荘町につきましては約40万7,000円となっております。県の平均が42万3,000円という形でとなっております。県下平均より愛荘町は低い数値ということで、一番高いところで約46万ほどの市町があるということと、一番低いところで40万2,000円、この間で各19市町があるという形になってます。

以上です。

○**議長（森野 隆君）** ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○**議長（森野 隆君）** これで質疑を終わります。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。

13番、辰己 保君。

○**13番（辰己 保君）** 13番、辰己。反対討論を行います。議案第11号 国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）について反対を行います。

国保税は、協会けんぽなどに比べて約2倍の負担になっています。補正予算（第5号）でも示しているとおおり、我が町の医療費水準は低く抑えられています。統一水準

に合わせる国保税へと引き上げた結果、基金繰入分を繰り戻す予算となっています。財政運営の不安定化を招く要因となる高額医療費の発生リスクをどのように対処していくのか不透明です。統一化によって国保料水準の統一は、医療水準の低い我が町での保険料がうなぎ上りになることを警告しておきます。県統一化は後期高齢者医療事業のように、被保険者の声は届かない、低所得者だけでなく、中間層の生活及び命を脅かす事業への移行だと言えます。デジタル社会を町民の利便性に生かすのではなく、行政サイドの利便性の統一と医療費の抑制に活用することは断じて許せないことを表明いたします。まず、行政として取り組むことは、所得のない未就学児及び就学児への均等割課税を直ちに廃止すること、そうして保険加入者への生活を守っていくということが近々の課題解決に向けて取り組むことを申し述べて反対討論といたします。

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 河村善一です。私は、議案第11号 令和6年度愛荘町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）に賛成する立場から討論を行います。

我が国では、国民の誰もが病気やけがをしたときに安心して医療を受けられるよう、全ての人々が医療保険に加入することになっており、国民健康保険制度は国民皆保険を持続するための中核としての役割を担っているものです。しかしながら、加入者の高齢化、被保険者数の減少や医療の高度化により運営は厳しく、国民皆保険を将来にわたって堅持し、持続可能な医療保険を構築するため、平成30年度から県が財政運営の責任主体となりました。今回の補正予算については、年度末を見据えて国保税の収納見込みや繰入金等の額の確定をはじめとする歳入の精査、保険事業費並びに特定健康診査等事業費等の執行見込みに伴う歳出の精査及び今後の支出への備えが行われたものであります。

以上の理由により、承認について賛成するものです。議員各位におかれましても御理解いただき、本補正予算の承認に御賛同をお願いして、討論を終わります。

○議長（森野 隆君） ほかに討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） これで討論を終わります。

これより議案第11号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（森野 隆君） 起立多数です。よって、議案第11号 令和6年度愛荘町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）は、原案のとおり可決されました。

◎議案第12号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第27 議案第12号 令和6年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第5号）を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。

福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） 令和6年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第5号）について御説明をさせていただきます。議案書の70ページをお開きください。

議案第12号 令和6年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによるものです。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ487万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億6,174万8,000円とするものです。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表 歳入歳出予算補正によるものです。

上記の議案を提出いたします。

今回の補正予算については、令和6年度末を控え、歳入歳出とも決算見込みを実施し精査した結果を予算措置しようとするため、補正をお願いするものです。

それでは、71ページをお開きください。

歳入の部でございます。1款保育料1項後期高齢者医療保険料1,111万5,000円の追加。

4款繰入金1項一般会計繰入金710万5,000円の減額。

6款繰越金1項繰越金86万4,000円の追加とし、歳入合計補正前予算額2億5,687万4,000円とし、補正予算額487万4,000円を追加し、補正後予算額2億6,174万8,000円とするものです。

続いて、72ページをお願いいたします。

歳出の部でございます。2款広域連合納付金1項広域連合納付金487万4,000円を追加し、歳出合計補正前予算額2億5,687万4,000円に、補正予算額487万4,000円を追加し、補正後予算額2億6,174万8,000円とするものです。

73ページから76ページは、歳入歳出予算補正事項別明細書となっております。

以上、令和6年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第5号）についての説明とさせていただきます。御審議賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 75ページなんですけど、歳入のところで普通徴収保険料がかなり補正が、1,061万1,000円の増額補正されてますけれども、これは団塊の世代が75歳になったということで、特別徴収がすぐにはならず、初めは切り替わりのときは普通徴収になると思いますので、そういう意味でしょうか。つまり、団塊の世代が75歳になったということで、それだけの普通徴収が増額になっているのかということについてお願いします。

○議長（森野 隆君） 住民課長。

○住民課長（楠 真二君） 今ほどの特別徴収、普通徴収の割合ですけれども、この増減につきましては、保険料の改正が6年度、7年度分ですけれども第9期の改正がありました。それで保険料が上がったのですけれども、予算の策定段階では5年度分までの率で計算していたということが一番大きな要因でありますので、どこかで補正をする必要があるので、3月に補正をさせていただきまして、普通徴収、特別徴収共に増額となったものでございます。最初に、計算なんですけれども、そもそも広域連合のほうから数値が、納付金以外なんですけれども示されます。その数値を根拠に予算を計上しているということで、今回この保険料の料率が変わったということで、改めてその金額に合わせて補正しているというものでございます。

○議長（森野 隆君） それでは、ほかに質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） これで質疑を終わります。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありますか。

13番、辰己 保君。

○13番（辰己 保君） 13番、辰己。反対討論を行います。

議案第12号 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第5号)に反対を行います。

国民健康保険税と同じように、令和6年度後期高齢者医療事業における保険料が、所得割は8.7%から9.56%に引き上げられ、均等割も4万6,160円から4万8,604円と負担増になりました。団塊世代が後期高齢者医療制度に移行することを理由に、現役世代の負担を減らす一因で保険料を引き上げました。国保の引上げに見られるように、現役世代にも大きな負担を負わせ、高齢者と現役世代を分断する、こうした状況がつくられています。補正後は年度末の清算とはいえ、被保険者に負担を求めた結果です。財源を自己責任論で確保するのではなく、財力のある大きな企業などが社会的責任を果たすということを求め、こうした国保財源を確保していくということを主張して反対討論とします。

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 河村善一です。私は、令和6年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第5号）に賛成する立場から討論を行います。

後期高齢者医療は75歳以上と65歳から74歳までのうち、一定の障害をお持ちの方を対象とした医療保険制度であります。高齢化が進展するにつれ、医療費が上昇しつつある状況下で、高齢者の誰もが地域で安心して健やかに暮らすことができるように、都道府県ごとに後期高齢者医療広域連合が設置され、窓口業務については市町が処理することとされており、健全で円滑な後期高齢者医療事業の運営を頂いております。今回の補正予算については、被保険者の増加による保険料の増額及び広域連合からの負担金の決定などによるものであり、第5号補正予算を承認し賛成するものです。

議員各位におかれましても、御理解いただき御賛同をお願いし、討論を終わります。

○議長（森野 隆君） ほかに討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） これで討論を終わります。

これより議案第12号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立多数です。よって、議案第12号 令和6年度愛荘町後

期高齢者医療事業特別会計補正予算（第5号）は、原案のとおり可決されました。

◎議案第13号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第28 議案第13号 令和6年度愛荘町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。

福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） 令和6年度愛荘町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）について

説明をさせていただきます。議案書の77ページをお開きください。

議案第13号 令和6年度愛荘町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによるものです。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ4,689万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ16億936万円とするものです。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表 歳入歳出予算補正によるものです。

上記の議案を提出いたします。

今回の補正につきましては、令和6年度末を控え、歳入歳出とも決算見込みを実施し査定した結果を予算措置しようとするため、補正をお願いするものです。

それでは、78ページをお開きください。

歳入の部でございます。1款保険料1項介護保険料900万6,000円の減額。

3款国庫支出金1項国庫負担金745万円の減額。その下、2項国庫補助金250万8,000円の減額。

4款支払基金交付金1項支払基金交付金1,211万7,000円の減額。

5款県支出金1項県負担金750万円の減額。その下、2項県補助金11万5,000円の追加。

8款繰入金1項一般会計繰入金779万3,000円の減額。その下、2項基金繰入金63万1,000円を減額し、歳入合計、補正前予算額16億5,625万円に補正予算額4,689万円を減額し、補正後予算額16億936万円とするものです。

次のページ、79ページになります。

歳出の部でございます。1款総務費1項総務管理費148万5,000円の減額。その下、3項認定審査会費102万円の減額。その下、4項運営協議会費39万8,000円の減額。

2款保険給付費1項介護サービス等諸費4,300万円の減額。その下、6項特定入所者介護サービス等費300万円の減額。

4款地域支援事業2項包括的支援事業・任意事業12万7,000円の減額。その下、3項介護予防・生活支援サービス事業費140万円の追加。その下、4項一般介護予防事業費27万6,000円の減額。

6款諸支出金1項償還金及び還付加算金2,000円の追加。その下、2項基金積立金101万4,000円の追加。

7款予備費1目予備費については、財源内訳の変更による補正を行うものです。歳出合計、補正前予算額16億5,625万円に、補正予算額4,689万円を減額し、補正後予算額16億936万円とするものでございます。

80ページから88ページは歳入歳出予算補正事項別明細書、89ページは給与費明細書となっております。

以上、令和6年度愛荘町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）についての説明とさせていただきます。御審議賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 11番、瀧です。86ページなんですけども、保険給付費のほうです。保険給付費を、介護サービス等諸費と特定入所者介護サービス費、それと一緒にした場合ですけども、4,600万円の執行残が出てるんです。これは、4,600万円、これだけでも1年の執行残が出てる、1年か分かりませんが、まだ前に出てたかもしれませんけども、これだけ言っても、実はこれが第9期の介護保険の計画の1年目の清算とも言えるものだと思うんですけども、それで結局、そのときには保険料を決めるときに準備基金を5,600万円取り崩して、抑制要因影響額292円下げるということで5,600万円を取り崩すという、そういうふう基準額を100円高くしたんですけど、もうこれで4,600万円と匹敵するような執行残になってるんです。そういうことで、ちょっとそれが理解しがたいので、その介護給付費

の執行残について説明を求めたいと思います。

○議長（森野 隆君） 福祉課長。

○福祉課長（小林充周君） ありがとうございます。執行残に一番大きな影響をもたらしておりますのが、補正予算書の、御指摘のありました86ページの一番上、2款1項の5目施設介護サービス給付費の3,200万の減額という部分が一番大きくなってございます。これにつきましては、年間、1人の方が入所されると約500万円のお金がかかるということで、ざくっとした計算ですが、6人程度の予定の方が入所せずに済んでいるというような状況というように捉えております。当初予算と比較しまして約6%程度の減額ということで、パーセンテージですと非常に低い減額ではあるんですが、減額しますとこの分どうするかという部分につきましては、基金のほうに積み立てるといことになりますので、どんどん基金のほうは膨れていくというような状況にはなりません。計画を立てるときに、この基金がどれだけ潤沢にあるかというのが抑制要因になるということにつきましては、今までの答弁、説明等の中でさせていただいたところではございますが、こういった現象が起こるのも、居宅で御自宅のほうでの介護を頑張っていた部分、また一般介護予防の事業の展開がうまくいっている部分等の成果かなと思うところもございます。次期の計画を立てるときに、この基金の残額がよいように保険料に効果的に抑制要因として回るように、引き続き基金の運用につきましては慎重に取り扱っていきたいというふうに思っておりますので、御理解いただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（森野 隆君） 11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 瀧です。今、施設に入るのに1人500万円ほどが要って、この6名分が入所せずに済んでいるというふうに答弁いただいたんですね。入所せずに済んでいるのか、入所を望んでいるけれども、待機されている、つまり入りたいけど入れないという状態もあると思いますけれども、一人一人がどうかといったらもうそれは言えないと思いますが、どういう傾向であるのか、大体の傾向、入所せずに済んでいるというふうなことは、本人やらの御家族がそれを望んでおられなくてそういうふうな入所したいいう人がいなかったということなのか、それとも入所したいけれども待機せざるを得ないというようなことがあるのかということについて答弁をお願いします。

○議長（森野 隆君） 福祉課長。

○福祉課長（小林充周君） ありがとうございます。個々の詳細な情報というのはちょっと私のほうでも把握できていない部分はございますが、確かに入所待ちの方というのはおられます。入所待ちであっても、その御家庭で生活をしていただけるよう、地域包括支援センターも含めケアマネさんでその方の暮らしのサービスの計画を立てていただいて、できるだけ負担の少ない暮らしができるようにということで調整を頂いているという部分もございます。

以上でございます。

○議長（森野 隆君） 11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 瀧です。この審議する当初予算の概要のほうに特別会計の基金のほうが書かれておりますけれども、令和6年度見込みとして介護保険の準備基金は1億1,143万と年度末見込みの残高になっておりますけれども、この補正予算の時点でこの金額という解釈でよろしいのでしょうか。

○議長（森野 隆君） 福祉課長。

○福祉課長（小林充周君） ありがとうございます。この補正予算の段階では、令和5年度末の残高が8,231万8,113円、現在、補正等で令和6年度の取崩しの予定が21万9,000円、令和6年度の積立予算が2,933万1,000円ということで、5年度末から取崩し分を引いて積立分を足しますと、1億1,186万8,113円というのが今の補正後の6年度の基金残高の予定というふうになります。

○議長（森野 隆君） もう一度お願いします。

○福祉課長（小林充周君） 最終の残高予定だけ申し上げます。1億1,186万8,113円でございます。

○議長（森野 隆君） よろしいですか。それでは、ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） これで質疑は終わります。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。

11番、瀧 すみ江君。

○11番（瀧 すみ江君） 11番、瀧 すみ江。議案第13号 令和6年度愛荘町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）に対し、反対を表明します。

第9期介護保険事業計画の1年目の令和6年度の清算とも言える補正予算です。補正予算の歳出部分では、保険給付費だけでも合計4,600万円が事業の執行残になっ

ています。これでは計画されたサービス料が本当に適切だったのかという疑問を持ちます。第9期計画では、準備基金を5,600万円取り崩して、基準額を100円引き上げ5,900円とされましたが、この補正予算でも101万4,000円が積み増しされています。令和6年度末残高、今お聞きしたところでは、この補正予算の段階では1億1,186万8,113円と答弁を頂いております。でも、6年度で初めて何千万円という残高から1億円というふうな桁が1つ増えているわけです。そういうことで、第9期計画の3年間で5,600万円を取り崩すどころか、その金額の半分以上を1年で積み増しされているということが言えると思います。

このことから、第9期で保険料の基準額について100円を引き上げる必要がなかったということを訴えまして反対討論といたします。

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありませんか。

10番、河村善一君。

○10番（河村善一君） 河村善一です。私は、令和6年度愛荘町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）に賛成する立場から討論を行います。

令和6年度は第9期介護保険計画のスタートとなりました。介護を必要としている方へしっかりと支援を行き渡らせ、それと並行して認知症予防のカフェやフォーラム、ゆうゆう教室の開催、集落サロンで積極的に出前講座を行うなど、介護保険係と地域包括支援センターが連携して創意と工夫による様々な介護予防事業を展開されています。減額が中心となる今回の補正予算は、当初予算に比べ数%程度の減額が大半で、計画値と大きく変わるものはほとんどなく、またこの差額は介護予防事業の効果の表れと解することができると思います。超高齢社会の中で、団塊の世代が75歳の後期高齢者となる2025年を迎えました。その人口は全体の18%を占めると言われており、今後は更に高齢者が安心して暮らせるために介護保険制度を活用することになります。引き続き、基金運用を慎重に行っていただき、次期の第10期計画も、現状と将来を見据えた介護保険料の設定と必要なサービスの提供体制の充実、地域支援事業における介護予防事業の推進を図り、さらなる介護保険制度の理解促進に努めていただくことをお願いし、第4号補正予算を承認し賛成するものです。

議員各位におかれましても、御理解いただき御賛同をお願いし、討論を終わります。

○議長（森野 隆君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） これですべての討論を終わります。

これより議案第13号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（森野 隆君） 起立多数です。よって、議案第13号 令和6年度愛荘町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）は、原案のとおり可決されました。

◎議案第14号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第29 議案第14号 令和6年度愛荘町下水道事業会計補正予算（第3号）を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。

産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） 補正予算書の90ページをお願いいたします。90ページでございます。

議案第14号 令和6年度愛荘町下水道事業会計補正予算（第3号）について説明をさせていただきます。

総則、第1条、令和6年度愛荘町下水道事業会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによるものでございます。

収益的収入及び支出の補正、第2条、令和6年度愛荘町下水道事業会計予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正をいたします。

92ページで説明をさせていただきます。92ページをお願いいたします。

収益的収入及び支出、収入の部、第1款下水道事業収益第1項営業収益494万1,000円の追加。2項営業外収益152万1,000円の追加。計646万2,000円の追加。収入合計が9億146万2,000円でございます。

93ページ、支出でございます。

1款下水道事業費用1項営業費用608万円の追加。支出合計608万円。合計9億9,664万1,000円でございます。

ページお戻りいただきまして、91ページ。資本的収入及び支出の補正、第3条、令和6年度愛荘町下水道事業会計予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

94 ページで説明をさせていただきます。94 ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出、収入、1 款資本的収入1 項企業債9 3 0 万円の減。2 項補助金1, 4 3 7 万6, 0 0 0 円の追加。3 項分担金1, 8 3 3 万6, 0 0 0 円の減。4 項負担金5 4 万6, 0 0 0 円の追加。5 項その他資本的収入5 0 万円の減。計1, 3 2 1 万4, 0 0 0 円の減額でございます。収入合計7 億7, 8 5 8 万1, 0 0 0 円でございます。

95 ページ、支出の部、1 款資本的支出1 項建設改良費1, 1 6 6 万7, 0 0 0 円の減。3 項その他資本的支出5 0 万円の減。合計1, 2 1 6 万7, 0 0 0 円の減。支出合計8 億7, 2 8 7 万6, 0 0 0 円でございます。

91 ページにお戻りいただきまして、企業債の補正、第4 条、令和6 年度愛荘町下水道事業会計予算第5 条に定めた起債の限度額を次のとおり変更するものでございます。

起債の目的、流域下水道事業債8 4 0 万円の減、計7, 0 5 0 万円。資本費平準化債9 0 万円の減、計3 億9, 1 7 0 万円でございます。

他会計からの補助金の補正、第5 条、下水道事業の営業助成のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額を2 億6, 9 2 1 万8, 0 0 0 円とするものでございます。

上記議案を提出させていただきます。

96 ページからは予定キャッシュ・フロー計算書、97 ページからは予定貸借対照表を付けさせていただきます。

以上、説明とさせていただきます。御審議いただきますよう、よろしく願いをいたします。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第14 号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第14号 令和6年度愛
荘町下水道事業会計補正予算（第3号）は、原案のとおり可決されました。

◎議提第1号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第30 議提第1号 予算・決算特別委員会の設置につ
いてを議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。13番、辰己 保君。

〔13番 辰己 保君登壇〕

○13番（辰己 保君） お手元に配付されている追加議事日程で説明をさせていた
だきます。愛荘町議会申合せ事項第10条に、予算・決算特別委員会の設置につ
いては3月議会で議決を図る、なお特別委員会の時期については1年限りとすると定めら
れていますので、今回、議会運営委員会で予算・決算特別委員会の設置についてを上
程します。

1ページを御覧いただきたいと思います。

議提第1号、令和7年2月17日、愛荘町議会議長、森野隆様。

予算・決算特別委員会の設置について。

上記の議案を、愛荘町議会会議規則第14条の規定により別紙のとおり提出する。

提出者、愛荘町議会議員、辰己保。

賛成者、愛荘町議会議員、中川喜代和。

賛成者、同、村西作雄。

賛成者、同、高橋正夫。

賛成者、同、竹中秀夫。

続いて、2ページを御覧ください。

予算・決算特別委員会の設置について。

次のとおり、予算・決算特別委員会を設置するものとする。

記。

1、名称、予算・決算特別委員会。

2、設置の根拠、愛荘町議会委員会条例第5条。

3、目的、新年度予算、補正予算、前年度決算を総合的かつ詳細に審議する必要が

あるため。

4、設置期間、1年間。

5、定数、議長を除く13人。

以上、御審議をよろしく願申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議提第1号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議提第1号 予算・決算特別委員会の設置については、原案のとおり可決されました。

◎選任第1号の上程、説明、選任

○議長（森野 隆君） 日程第31 選任第1号 特別委員会委員の選任についてを議題にします。

お諮りします。特別委員会委員の選任については、愛荘町議会委員会条例第6条第7項の規定により、議長において指名したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、議長において指名します。

予算・決算特別委員会委員については、議長を除く13名を指名したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、選任第1号 特別委員会委員

の選任については、ただいま指名しましたとおり選任することに決定しました。

◎報告第1号の上程、報告

○議長（森野 隆君） 日程第32 報告第1号 特別委員会正副委員長の報告についてを議題にします。

委員会で互選の結果、予算・決算特別委員会委員長に高橋正夫君、副委員長に村西作雄君、以上のように互選されましたので、報告します。

◎議案第15号の上程、説明、質疑

○議長（森野 隆君） 日程第33 議案第15号 令和7年度愛荘町一般会計予算を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。

総務政策監。

○総務政策監兼会計管理者（生駒秀嘉君） それでは、令和7年度愛荘町各会計予算書のほうを御覧いただきたいと思います。1ページをお願いいたします。

議案第15号 令和7年度愛荘町一般会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算、第1条、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ116億6,500万円と定める。

2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表 歳入歳出予算による。

地方債、第2条、地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、第2表 地方債による。

一時借入金、第3条、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は5億円と定める。

歳出予算の流用、第4条、地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

1号、各項に計上した給料、職員手当及び共済費に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

上記の議案を提出するものでございます。

2ページをお願いいたします。

第1表に入る前に、当初予算の考え方について御説明をさせていただきます。当初予算の概要のほうを御覧いただきたいと思います。当初予算の概要をお願いいたします。1ページでございます。

令和7年度当初予算の考え方ということで、国内経済については、昨年春に33年ぶりの高水準の賃上げが実現し、企業の設備投資は史上最高の水準にあるものの、物価の上昇に賃上げの伸びが追いつかず、デフレ脱却、賃金と物価の好循環の実現に向けて、今がまさに重要な局面を迎えています。加えて、少子高齢化に伴う社会を支える人材の確保をはじめ、激甚化、頻発化する自然災害に備えた危機管理体制の向上がより一層求められています。

また、本町の財政収支見直しにおいては、物価高騰等の影響による経常経費の増加や社会保障関係費の増加、公共施設の更新などの大規模事業の実施による財政需要の増加に伴い、財政健全化に向けた取組が喫緊かつ重要な課題となっております。

令和7年度は、平成18年2月13日に愛荘町が誕生してから20年を迎える節目の年となります。愛荘町がさらなる飛躍に向けて前進し、次代によりよいバトンをつないでいくための契機とし、今後も住民が幸せを実感できる独自性を生かしたまちづくりを進めていかなければなりません。

こうした基本認識の下、将来の町のありたい姿の実現に向けた未来志向のまちづくりに取り組む必要があり、総合計画に掲げる重点戦略プロジェクトのアクションプランとなる第3期愛荘町みらい創生戦略に基づくひとづくり・しごとづくり・まちづくりの3つの柱を軸に、令和7年度に重点的に取り組む施策に予算を配分をいたしました。

さらに、国スポ・障スポ大会はもとより、住民サービスをはじめとする業務の効率化に係るデジタル実装を継続的に進めるとともに、年々費用負担が増大する公共施設、インフラにおける老朽化対策、福祉や教育、暮らしの安全、防災・減災など住民生活に不可欠なサービスを安定的に提供するための施策に予算を配分し、未来志向のまちづくりの着実な推進と基礎的な行政サービスの確保、充実の両立を図るなど、さらなる成長につながる創造性の高い施策を展開してまいりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、予算書のほうに戻っていただきたいと思います。

予算書の2ページをお願いいたします。第1表の歳入歳出予算でございます。

歳入の部からでございます。1款町税1項町民税14億3,013万5,000円。
2項固定資産税15億8,595万5,000円。3項軽自動車税9,848万1,000円。
4項町たばこ税1億4,975万1,000円。

2款地方譲与税1項地方揮発油譲与税1,741万6,000円。2項自動車重量譲与税5,765万2,000円。4項森林環境譲与税474万1,000円。

3款利子割交付金1項利子割交付金255万8,000円。

4款1項とも配当割交付金2,021万2,000円。

5款1項株式等譲渡所得割交付金3,270万9,000円。

6款1項法人事業税交付金6,334万8,000円。

7款1項地方消費税交付金5億3,897万9,000円。

8款1項環境性能割交付金1,742万6,000円。

3ページをお願いいたします。

9款1項地方特別交付金2,625万5,000円。

10款1項地方交付税24億9,700万円。

11款交通安全対策特別交付金1項同じく118万6,000円。

12款分担金及び負担金2項負担金5,840万7,000円。

13款使用料及び手数料1項使用料3,426万。2項手数料1,305万2,000円。

14款国庫支出金1項国庫負担金で11億94万9,000円。2項国庫補助金で2億4,148万円。3項委託金583万5,000円。

15款県支出金1項県負担金3億9,800万2,000円。2項県補助金4億895万9,000円。3項委託金7,424万1,000円。

16款財産収入1項財産運用収入761万円。次ページをお願いいたします。2項財産売払収入で50万。

17款1項寄付金で1億2,000万1,000円。

18款繰入金項特別会計繰入金2,000円。2項基金繰入金12億6,483万2,000円。

19款1項繰越金5,000万。

20款諸収入1項延滞金、加算金及び過料160万9,000円。2項町預金利子8,

000円。3項貸付金元利収入170万4,000円。4項受託事業収入で1,281万4,000円。5項雑入で2億2,053万1,000円。

21款1項町債11億640万円で、歳入合計といたしまして116億6,500万円となっております。

続きまして、次ページの歳出でございます。

1款1項議会費でございます。1億549万6,000円。

2款総務費1項総務管理費で14億36万2,000円。2項徴税費1億1,481万7,000円。3項戸籍住民基本台帳費6,434万3,000円。4項選挙費で6,391万9,000円。5項統計調査費で1,513万8,000円。6項監査委員費で70万9,000円。

その下、3款で民生費1項社会福祉費で20億9,347万3,000円。2項児童福祉費で16億6,337万5,000円。

4款衛生費1項保健衛生費7億976万6,000円。

5款労働費1項労働諸費169万9,000円。

6款農林水産業費1項農業費1億8,953万2,000円。2項林業費638万4,000円。

7款1項商工費で1億3,390万1,000円でございます。

続きまして、6ページをお願いいたします。

8款土木費1項土木管理費で5,595万7,000円。2項道路橋梁費で7億1,312万7,000円。3項河川費で3,849万5,000円。4項都市計画費で3億545万6,000円。5項住宅費で4,190万4,000円。

その下、9款1項消防費で4億6,484万6,000円。

10款教育費1項教育総務費で2億8,736万4,000円。2項小学校費で1億5,099万7,000円。3項中学校費で8,908万5,000円。4項幼稚園費で2億4,279万3,000円。5項社会教育費で7億2,278万8,000円。6項保健体育費7億8,496万4,000円。

その下、12款1項公債費で10億6,744万円。

その下、13款諸支出金2項基金費で1億3,183万4,000円。

14款1項予備費で500万でございます。

歳入歳出合計とも合計116億6,500万の予算となっております。前年度対

比といたしまして8億6,100万円の増となっております。増減率が8%となっております。

続きまして、8ページをお願いいたします。

第2表の地方債でございます。

上段から、起債の目的、合併特例債で、限度額が5,050万、その下、公共事業等債で限度額が3,620万、一般事業債で9,930万、脱炭素化推進事業債（総務）で220万円、地方道路等整備事業債で3億4,270万、緊急自然災害防止対策事業債で2億1,300万、緊急浚渫推進事業債で600万、緊急防災・減災事業債で620万、脱炭素化推進事業債（教育）で1億1,900万、公共施設等適正管理推進事業債（教育）で2億3,130万ということで、合計11億640万の限度額とさせていただきます。

なお、起債の方法、利率償還の方法につきましては、御覧のとおりでございます。

続きまして、146ページをお願いいたします。146ページでございます。

給与費明細書となっております。この146ページについては、1、特別職となっております。147ページにつきましては、給与費明細書ということで、2の一般職、これにつきましては職員の正規職員、会計年度任用職員の全体分を上げさせていただいております。今年度、前年度比較分と上げさせていただいております。

次ページ、148ページでございます。アの会計年度任用職員以外の職員といえますのは正規職員分ということで、その下のイにつきましては会計年度任用職員分、次の149ページの（2）の給与及び職員手当の増減願の明細というところ、（3）については給与及び職員手当の状況を、次ページの150、151ページにわたって掲載をさせていただいております。

次、152ページから155ページにつきましては、債務負担行為に関する調書となっております。それと、最終ページの一般会計ですけれども、156ページにつきましては地方債に関する調書となっております。

以上、説明とさせていただきます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。愛荘町議会会議規則第39条第1項の規定により、議案第15号 令

和7年度愛荘町一般会計予算を、予算・決算特別委員会に付託したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、議案第15号 令和7年度愛荘町一般会計予算を、予算・決算特別委員会に付託することに決定しました。

ここで、本日の会議は議事の都合により、あらかじめ延長を行います。

◎議案第16号の上程、説明、質疑

○議長（森野 隆君） 日程第34 議案第16号 令和7年度愛荘町土地取得造成事業特別会計予算を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。

企画政策監。

○企画政策監兼みらい創生課長事務取扱兼給付金・定額減税一体支援事業推進室長事務取扱（西川傳和君） それでは、議案第16号 令和7年度愛荘町土地取得造成事業特別会計予算について御説明いたします。

黄色の表紙、予算書157ページをお願いいたします。

令和7年度愛荘町土地取得造成事業特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算、第1条、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ2,000円と定める。

第1条、第2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表 歳入歳出予算による。

次に158ページをお願いいたします。

歳入、1款財産収入1項財産売払収入、金額1,000円。

4款諸収入1項預金利子、金額1,000円。歳入合計で2,000円でございます。

続いて159ページをお願いいたします。

歳出でございます。3款諸支出金1項繰出金、金額2,000円。歳出合計2,000円でございます。

次の160ページから163ページまでが事項別明細書でございます。

以上、令和7年度愛荘町土地取得造成事業特別会計予算の議案を提出するものでございます。

御審議賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。愛荘町議会会議規則第39条第1項の規定により、議案第16号 令和7年度愛荘町土地取得造成事業特別会計予算を、総務産業建設常任委員会に付託したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって議案第16号 令和7年度愛荘町土地取得造成事業特別会計予算を、総務産業建設常任委員会に付託することに決定しました。

◎議案第17号の上程、説明、質疑

○議長（森野 隆君） 日程第35 議案第17号 令和7年度愛荘町国民健康保険事業特別会計予算を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。

福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） 令和7年度愛荘町国民健康保険事業特別会計予算について説明をさせていただきます。

予算書の164ページをお開きください。

議案第17号 令和7年度愛荘町国民健康保険事業特別会計予算は、次に定めるところによるものです。

歳入歳出予算、第1条、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ19億3,224万7,000円と定めるものです。

2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表 歳入歳出予算によるものです。

歳出予算の流用、第2条、地方自治法220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

1、各項に計上した保険給付費に係る予算額に過不足が生じた場合における同一款

内でのこれらの経費の各項の間の流用。

上記の議案を提出いたします。

それでは、165ページをお開きください。第1表 歳入歳出予算で説明させていただきます。

歳入の部でございます。1款国民健康保険税1項国民健康保険税3億3,274万円。

3款使用料及び手数料1項手数料10万6,000円。

7款県支出金2項県補助金14億793万5,000円。

9款財産収入1項財産運用収入3万9,000円。

10款繰入金1項他会計繰入金1億5,047万8,000円。2項基金繰入金3,716万3,000円。

11款繰越金1項繰越金300万円。

12款諸収入1項預金利子1,000円。2項雑入7万2,000円。3項延滞金、加算金及び過料71万3,000円とし、歳入合計19億3,224万7,000円とするものです。

次のページ、166ページをお願いします。

歳出の部です。1款総務費1項総務管理費4,319万5,000円。2項徴税費350万2,000円。3項運営協議会費30万4,000円。

2款保険給付費1項療養諸費11億6,410万円。2項高額療養費2億10万円。

3項葬祭諸費140万円。4項移送費5万円。5項出産育児諸費900万4,000円。6項傷病手当諸費1,000円。

3款国民健康保険事業費納付金1項医療給付費分3億2,700万6,000円。2項後期高齢者支援金分1億1,388万9,000円。3項介護納付金分3,631万円。

8款保健事業費1項保健事業費880万9,000円。2項特定健康診査等事業費2,250万7,000円。

10款諸支出金1項償還金及び還付加算金103万1,000円。2項基金積立金3万9,000円。

次のページ、167ページになります。

11款予備費1項予備費100万円とし、歳出合計19億3,224万7,000円とするものです。

168ページから200ページは、歳入歳出予算事項別明細書です。

また、181ページから186ページは給与費明細書となっております。

以上、令和7年度国民健康保険事業特別会計予算の説明とさせていただきます。

御審議賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。愛荘町議会会議規則第39条第1項の規定により、議案第17号 令和7年度愛荘町国民健康保険事業特別会計予算を、教育民生常任委員会に付託したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、議案第17号 令和7年度愛荘町国民健康保険事業特別会計予算を、教育民生常任委員会に付託することに決定しました。

◎議案第18号の上程、説明、質疑

○議長（森野 隆君） 日程第36 議案第18号 令和7年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計予算を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。

福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） 令和7年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計予算について説明をさせていただきます。

予算書の187ページをお開きください。

議案第18号 令和7年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計予算は、次に定めるところによるものです。

歳入歳出予算、第1条、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ2億6,208万3,000円と定めるものです。

2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表 歳入歳出予算によるものです。

上記の議案を提出いたします。

それでは、188ページをお願いいたします。

歳入の部でございます。1款保険料1項後期高齢者医療保険料2億160万1,000円。

2款使用料及び手数料1項手数料1,000円。

3款寄付金1項寄付金1,000円。

4款繰入金1項一般会計繰入金5,956万6,000円。

5款繰越金1項繰越金1,000円。

6款諸収入1項延滞金、加算金及び過料1,000円。2項償還金及び還付加算金91万円。3項預金利子1,000円。5項雑入1,000円とし、歳入合計2億6,208万3,000円とするものです。

次のページ、189ページをお願いいたします。

歳出の部でございます。1款総務費1項総務管理費846万2,000円。2項徴収費120万8,000円。

2款広域連合納付金1項広域連合納付金2億5,150万3,000円。

3款諸支出金1項償還金及び還付加算金91万円とし、歳出合計2億6,208万3,000円とするものです。

190ページから196ページは歳入歳出予算事項別明細書です。

また、197ページから201ページは給与費明細書となっております。

以上、説明とさせていただきます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。愛荘町議会会議規則第39条第1項の規定により、議案第18号 令和7年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計予算を、教育民生常任委員会に付託したいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって議案第18号 令和7年度愛荘町後期高齢者医療事業特別会計予算を、教育民生常任委員会に付託することに決定しました。

◎議案第19号の上程、説明、質疑

○議長（森野 隆君） 日程第37 議案第19号 令和7年度愛荘町介護保険事業特別会計予算を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。

福祉政策監。

○福祉政策監兼健康推進課長事務取扱兼子育て世帯包括支援センター所長事務取扱（木村美紀君） 令和7年度愛荘町介護保険事業特別会計予算について説明をさせていただきます。

予算書の202ページをお開きください。

議案第19号 令和7年度愛荘町介護保険事業特別会計予算は、次に定めるところによるものです。

歳入歳出予算、第1条、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ16億37万9,000円と定めるものです。

2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表 歳入歳出予算によるものです。

債務負担行為、第2条、地方自治法第214条の規定により債務を負担することができる事項、期間及び限度額は、第2表 債務負担行為によるものです。

歳出予算の流用、第3条、地方自治法第220条第2項ただし書の規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

1、各項に計上した保険給付費に係る予算額に過不足が生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

以上の議案を提出いたします。

それでは、203ページをお願いいたします。

歳入の部でございます。1款保険料1項介護保険料3億7,739万3,000円。

2款使用料及び手数料1項手数料2万5,000円。

3款国庫支出金1項国庫負担金2億6,453万5,000円。2項国庫補助金7,003万3,000円。

4款支払基金交付金1項支払基金交付金4億185万6,000円。

5款県支出金1項県負担金2億917万8,000円。2項県補助金1,372万8,000円。

6款財産収入1項財産運用収入10万5,000円。

7款寄付金1項寄付金1,000円。

8款繰入金1項一般会計繰入金2億6,282万2,000円。2項基金繰入金69万7,000円。

9款繰越金1項繰越金1,000円。

次のページ、204ページとなります。

10款諸収入1項延滞金、加算金及び過料1,000円。2項預金利子1,000円。

3項雑入3,000円とし、歳入合計16億37万9,000円とするものです。

次のページ、205ページをお願いいたします。

歳出の部でございます。1款総務費1項総務管理費3,126万9,000円。2項徴収費142万5,000円。3項認定審査会費1,506万8,000円。4項運営協議会費642万5,000円。5項趣旨普及費8万1,000円。

2款保険給付費1項介護サービス等諸費13億5,512万1,000円。2項介護予防サービス費等諸費3,728万9,000円。3項高額介護サービス等費2,521万円。4項高額医療合算介護サービス費353万円。5項その他諸費142万5,000円。6項特定入所者介護サービス等費3,506万円。

4款地域支援事業2項包括的支援事業・任意事業5,233万2,000円。3項介護予防・生活支援サービス等事業費3,011万2,000円。4項一般介護予防事業費52万8,000円。5項その他諸費13万8,000円。

6款諸支出金1項償還金及び還付加算金20万1,000円。次のページ、206ページになります。2項基金積立金436万5,000円。

7款予備費1項予備費80万円とし、歳出合計16億37万9,000円とするものです。

次のページ、207ページをお願いいたします。

第2表 債務負担行為は、第10期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定業務につきまして、令和7年度から住民ニーズ調査を実施し、令和8年度の第10期計画策定に当たり業者選定を行う必要があるため、期間を令和8年度とし、488万4,000円を限度額として債務負担をお願いするものでございます。

次の208ページから226ページは歳入歳出予算事項別明細書でございます。

また、227ページから232ページは給与明細書となっております。

以上、説明とさせていただきます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。愛荘町議会会議規則第39条第1項の規定により、議案第19号 令和7年度愛荘町介護保険事業特別会計予算を、教育民生常任委員会に付託したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、議案第19号 令和7年度愛荘町介護保険事業特別会計予算を、教育民生常任委員会に付託することに決定しました。

◎議案第20号の上程、説明、質疑

○議長（森野 隆君） 日程第38 議案第20号 令和7年度愛荘町下水道事業会計予算を議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。

産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） それでは、令和7年度予算書233ページをお願いいたします。233ページでございます。

議案第20号 令和7年度愛荘町下水道事業会計予算について説明をさせていただきます。

第1条、令和7年度愛荘町下水道事業会計の予算は、次に定めるところによるものでございます。

第2条、業務の予定量は、次に記載のとおりでございます。

第3条、収益的収入及び支出の予定額は次のとおりと定めます。

収入の部、第1款下水道事業収益第1項営業収益4億1,422万2,000円。第2項営業外収益6億5,392万円。計10億6,814万2,000円でございます。

支出、第1款下水道事業費用第1項営業費用8億8,629万7,000円。第2項営業外費用9,909万3,000円。第4項予備費200万円。計9億8,739万円でございます。

ページをおめくりいただきまして、234ページでございます。234ページ。

第4条、資本的収入及び支出の予定額は次のとおりと定めるものでございます。

収入、第1款資本的収入第2項企業債4億8,030万。第4項補助金7,065万7,000円。第5項分担金2,351万9,000円。第6項負担金0。第9項その他資本的収入50万円。計5億7,497万6,000円でございます。

支出、第1款資本的支出第1項建設改良費1億2,305万9,000円。第3項企業債償還金7億2,155万1,000円。第5項その他資本的支出50万円。計8億4,511万円でございます。

第5条、債務負担行為とすることができる事項、期間及び限度額を次のとおり定めるものでございます。

事項につきましては、下水道使用料改定検討業務でございます。期間が令和8年度、限度額209万1,000円でございます。

企業債、第6条でございます。起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定めるものでございます。

起債の目的といたしまして、公共下水道事業債2,850万円、流域下水道事業債7,100万円、資本費平準化債3億8,080万円、起債の方法、利率、償還の方法は記載のとおりでございます。

第7条、一時借入金の限度額は1億円と定める。

第8条、予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定めるものでございます。

1、営業費用。2、営業外費用。3、特別損失でございます。

第9条、次に掲げる経費については、その経費の金額をそれ以外の経費の金額に流用し、またはそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は議会の議決を経なければならないもの。1、職員給与費1,628万4,000円。

第10条、下水道事業の営業助成のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額を2億5,010万8,000円とするものでございます。

上記議案を提出をさせていただきます。

241ページからは予定キャッシュ・フロー計算書、242ページからは給与費明細書、249ページからは予定貸借対照表を添付させていただいております。

以上、説明とさせていただきます。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。愛荘町議会会議規則第39条第1項の規定により、議案第20号 令和7年度愛荘町下水道事業会計予算を、総務産業建設常任委員会に付託したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、議案第20号 令和7年度愛荘町下水道事業会計予算を、総務産業建設常任委員会に付託することに決定しました。

◎議案第21号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（森野 隆君） 日程第39 議案第21号 町道の路線の認定につき議決を求めることについてを議題にします。

本案について提案理由の説明を求めます。

産業政策監。

○産業政策監兼商工観光課長事務取扱（北川三津夫君） それでは、議案書31ページをお願いいたします。31ページでございます。

議案第21号 町道の路線の認定につき議決を求めることについて、上記の議案を提出させていただきます。

次の路線を町道の路線に認定することにつき、道路法第8条第2項の規定に基づき、議会の議決を求めるものでございます。

新規認定といたしまして、路線番号E253、路線名長野下南原線、起点、長野字下南原820-2、終点、長野字西出1124-8。路線番号E254、路線名石橋二ツ橋1号線、起点、石橋字二ツ橋853-24、終点、石橋字二ツ橋863。路線番号E255、路線名、石橋二ツ橋2号線、起点、石橋字二ツ橋853-2、終点、石橋字二ツ橋853-31。以上3路線でございます。

よろしく願いをいたします。

○議長（森野 隆君） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。初めに、反対討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 次に、賛成討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 討論なしと認めます。

これより議案第21号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森野 隆君） 起立全員であります。よって、議案第21号 町道の路線の認定につき議決を求めることについては、原案のとおり可決されました。

◎延会の宣告

○議長（森野 隆君） お諮りします。本日の会議はこれで延会したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、本日はこれで延会することに決定しました。

お諮りします。議事の都合により、3月7日から3月20日まで休会したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（森野 隆君） 異議なしと認めます。よって、3月7日から3月20日まで休会することに決定しました。

議会運営委員会を3月18日午前9時から開催し、全員協議会を午前10時から開催します。

再開は3月21日午前9時から本会議です。本日はこれで延会します。御苦労さまでした。

延会 午後4時32分